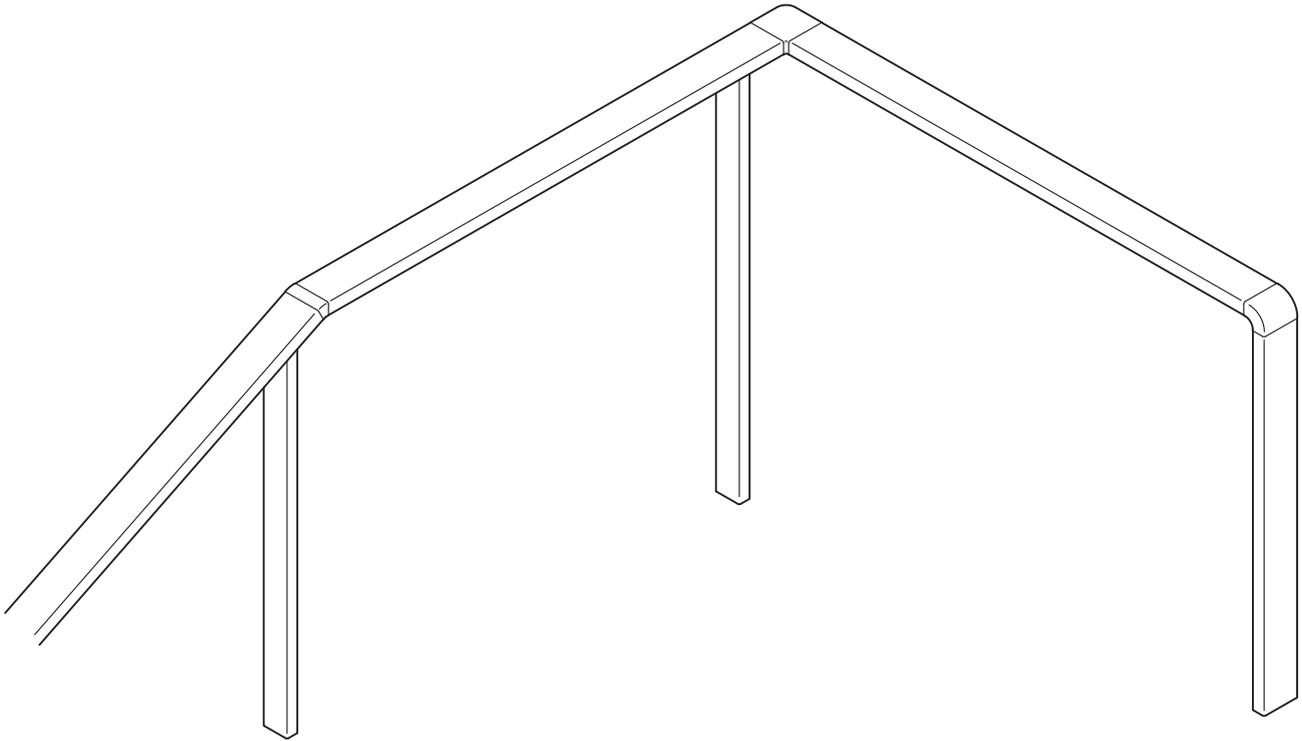


# デザイナーズレール

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。  
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。



## ■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

### 安全に関する記号と説明

- 警告** : 取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
- 注意** : 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

### 情報に関する記号と説明

- お願い** : 注意点や不具合を防ぐ上で確認して頂きたいこと、推奨される方法などを示します。
- Pポイント** : 説明の内容および部品などに関して知っておくと便利なことや、取付作業中における確認方法などを示します。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## <施工の前に>

### 警告

- 本製品は、境界やファサードをデザインする目的で設置したり、住宅および集合住宅の玄関アプローチなどの屋外通路へ設置し、歩行補助を目的にするもので、転落防止の機能はありません。
  - ・高い階段の外側や崖など、転落してケガをするおそれのある場所には設置しないでください。
  - ・おおぜいの人が集まるおそれのある場所には設置しないでください。
  - ・設置高さの上限は、手すり外側のG.L.から1m以内にしてください。使用用途、設置環境に応じて事故の危険がない設置高さとしてください。

### 注意

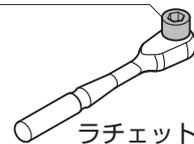
- 製品の施工には危険が伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

### お願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 前もって設置場所の確認を行ってください。給湯器、暖房機などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。熱により部材が変形・劣化するおそれがあります。
- 梱包明細表で、必要な部材・部品が揃っているか確認してください。

- 継手セット(端部用、傾斜上用)の取付けには、ラチェットレンチまたはラチェットドライバーがあると便利です。

呼び8ソケット



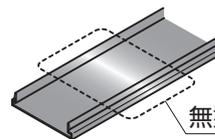
ラチェットレンチ

+ (プラス)の  
ドライバービット



ラチェットドライバー

- 本商品の製造上、笠木カバーと照明用笠木カバーの内側に塗装が施されていない部分がありますが性能上問題はありません。



無塗装部分

※図は笠木カバーの内側ですが、照明用笠木カバーの内側も同様です。

## <施工上のご注意>

### 注意

- 納まり図を確認し、本体高さが指定寸法以下になるように柱の切断や埋め込み調整をしてください。
- ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。  
<推奨トルク>  $\phi 4$ ネジ:  $2.5\text{N} \cdot \text{m} \pm 0.5\text{N} \cdot \text{m}$  ( $25 \pm 5\text{kgf} \cdot \text{cm}$ )  
 $\phi 5$ ネジ:  $3.0\text{N} \cdot \text{m} \pm 0.5\text{N} \cdot \text{m}$  ( $30 \pm 5\text{kgf} \cdot \text{cm}$ )
- アルミ製品が、亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- 柱内の水抜きができるよう、柱のG.L.より上20mmの位置に水抜き穴( $\phi 6$ )を必ずあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。



### お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行ってください。
  - ・ 作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。
  - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。  
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。  
免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
  - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 柱の固定は、全ての部材、部品を取付後に行ってください。
- 柱を施工する際は、笠木の直線、継手のねじれに注意してください。  
無理な力がかかると破損するおそれがあります。
- 笠木、柱などの切断・穴あけ加工を行う場合は、金属用の工具を使用してください。
- LED照明を取付ける場合で端部柱の側面から電源ケーブルを引き込む場合は、φ22のホールソーが必要です。  
(地中配線、地上配線ともに)

## <基礎工事についてのご注意>



### 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。



### お願い

- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

## <電気配線工事について>



### 注意

- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。故障や漏電した場合に感電する恐れがあります。
- オプションのLED照明はDC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因になります。
- 別売りの当社製トランス電源ユニット・電源ケーブルと合わせて使用してください。
- コネクタを切断するなどの加工は行わないでください。故障・感電の原因となります。
- 施工作業中は通電させないでください。故障・感電の原因になります。

## <施工の後に>

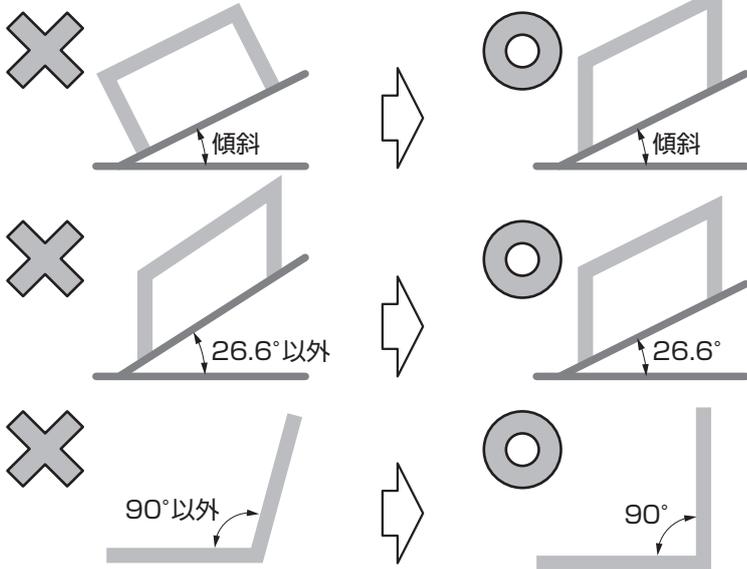


### お願い

- 取扱説明書はお施主様にお渡しください。

# 1. 施工の条件

## 1-1 本体の施工について



### Pポイント

●傾斜地に継手セット(端部柱用標準用)をおよび中間柱取付金具(標準用)を使用することはできません。必ず傾斜用の部品を使用してください。

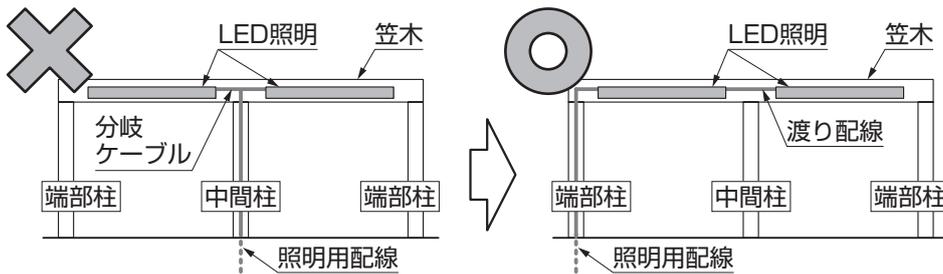
### Pポイント

●傾斜地に施工する場合、 $26.6^\circ$ 以外の傾斜角度では施工できません。

### Pポイント

●L字接続の場合、 $90^\circ$ 以外の角度では接続できません。

## 1-2 LED照明 オプション の取付けについて

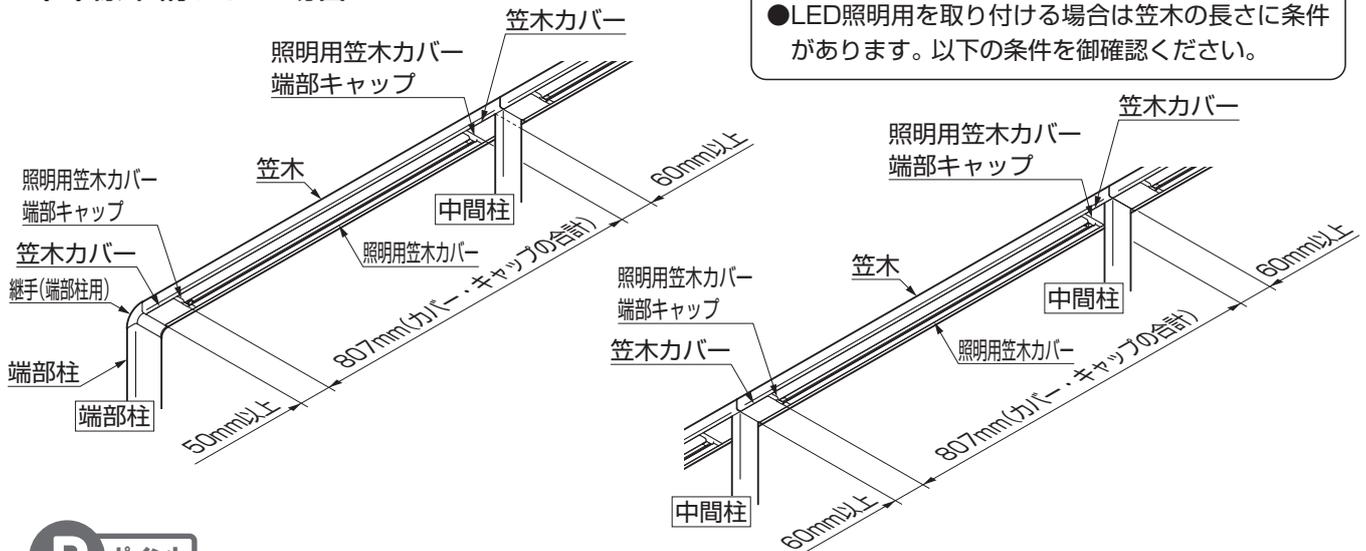


### Pポイント

●LED照明用の配線を中間柱の中に通すことはできません。(地中配線・地上配線ともにできません。)必ず端部柱の中に通してください。(傾斜施工の場合も同様です。)

## 1-3 LED照明 オプション の取付けについて

### (1)標準納まりの場合



### Pポイント

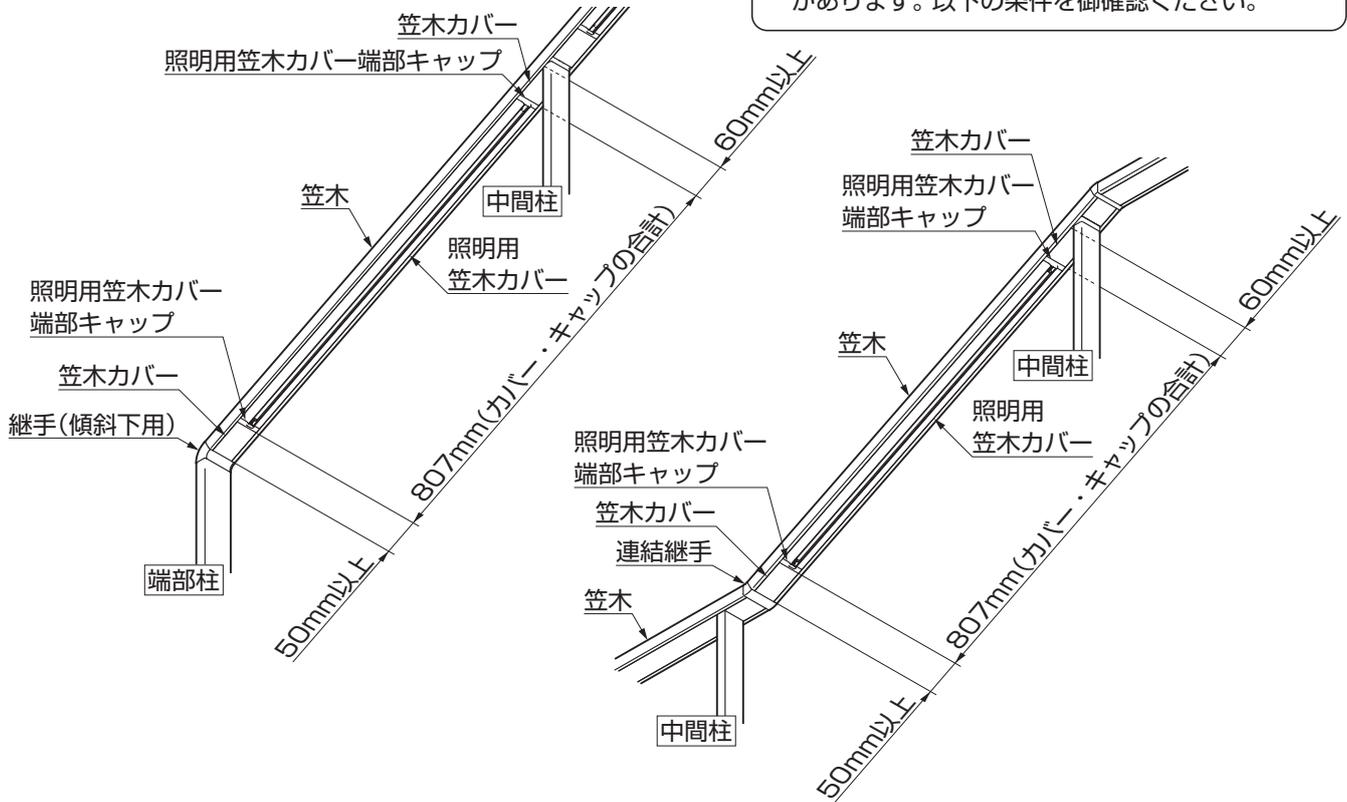
●LED照明用を取り付ける場合は笠木の長さには条件があります。以下の条件を御確認ください。

- 継手から照明用笠木カバー端部キャップまでは50mm以上としてください。
- 中間柱の側面から照明用笠木カバー端部キャップまでは60mm以上としてください。

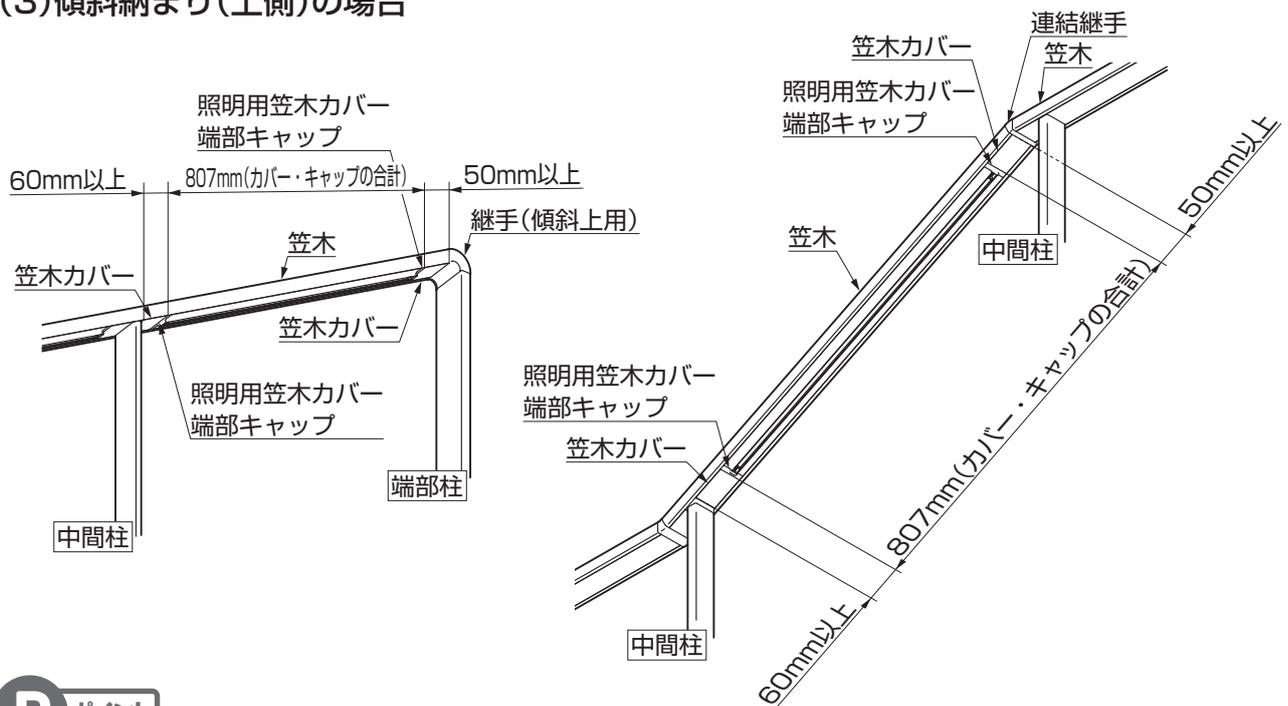
## (2) 傾斜納まり(下側)の場合

### Pポイント

●LED照明用を取り付ける場合は笠木の長さには条件があります。以下の条件を御確認ください。



## (3) 傾斜納まり(上側)の場合

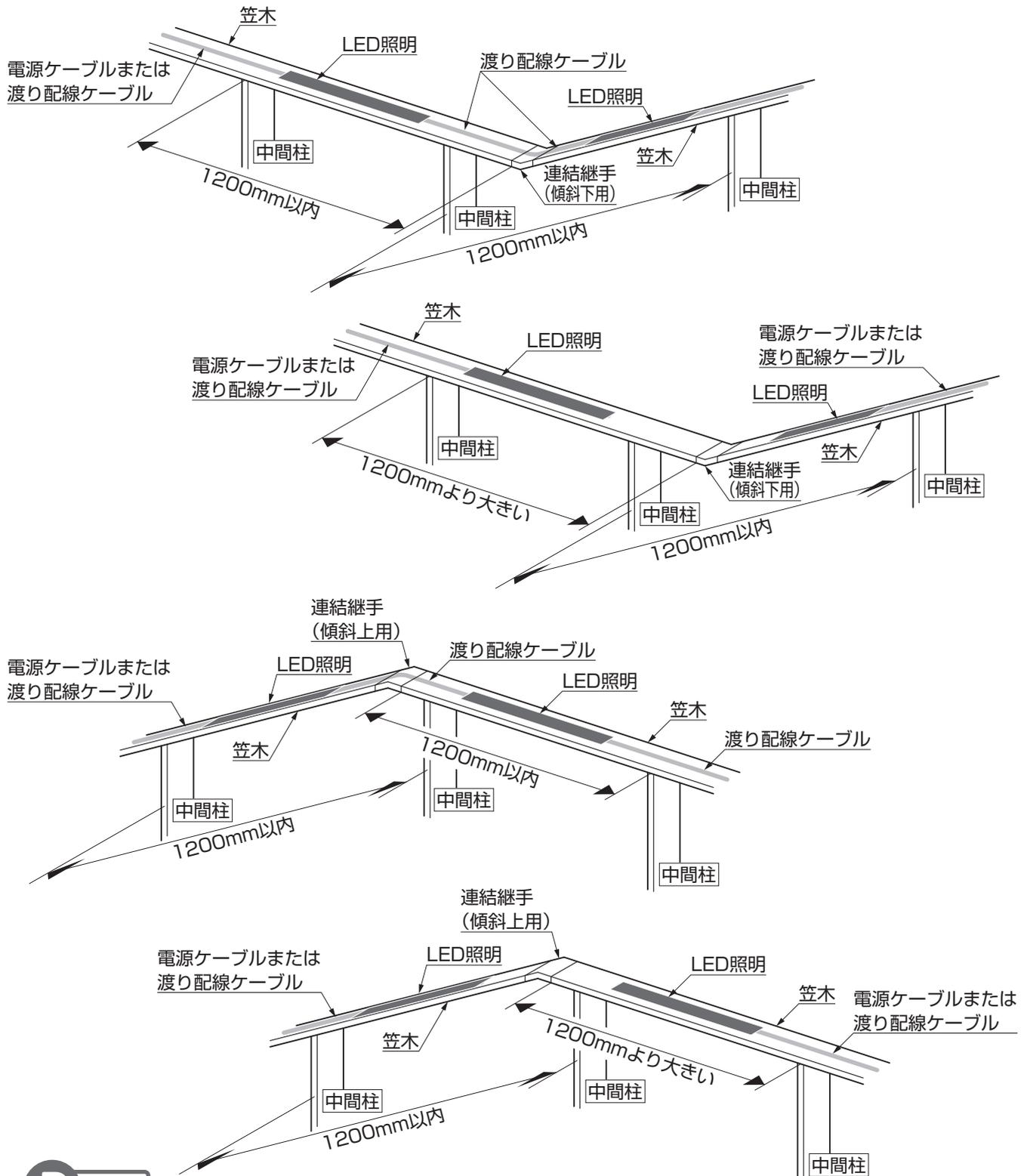


### Pポイント

- 継手から照明用笠木カバー端部キャップまでは50mm以上としてください。
- 中間柱の側面から照明用笠木カバー端部キャップまでは60mm以上としてください。

# 1. (つづき)

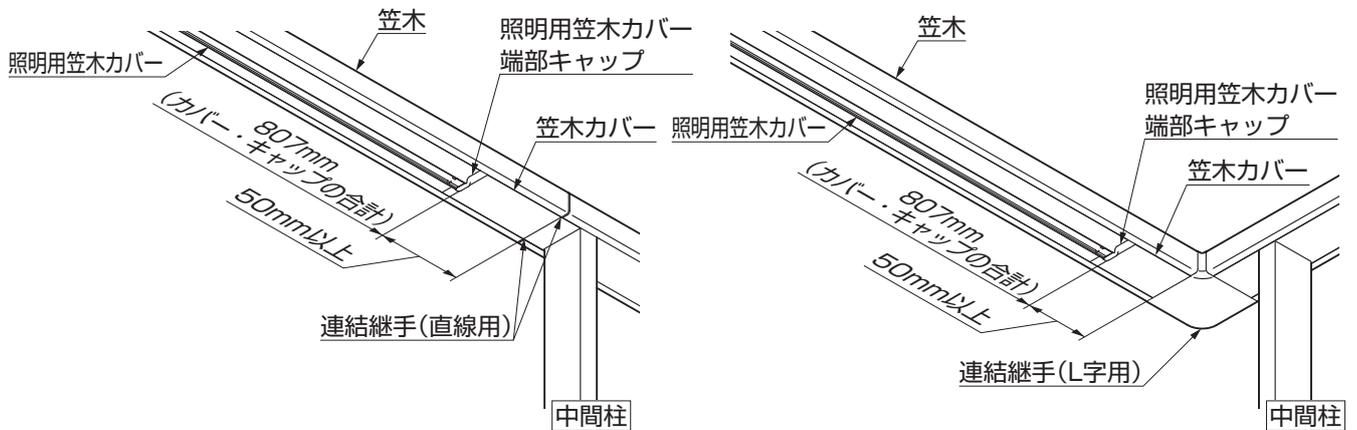
## 1-4 傾斜連結納まりの場合の注意点



### Pポイント

- 連結継手(傾斜上用・下用ともに)側の笠木端部から中間柱の中心までは1200mm以内としてください。(渡り配線ケーブルが届かなくなります。)
- 1200mmより大きくする場合は反対側の笠木から電源ケーブルや渡り配線ケーブルを通してください。

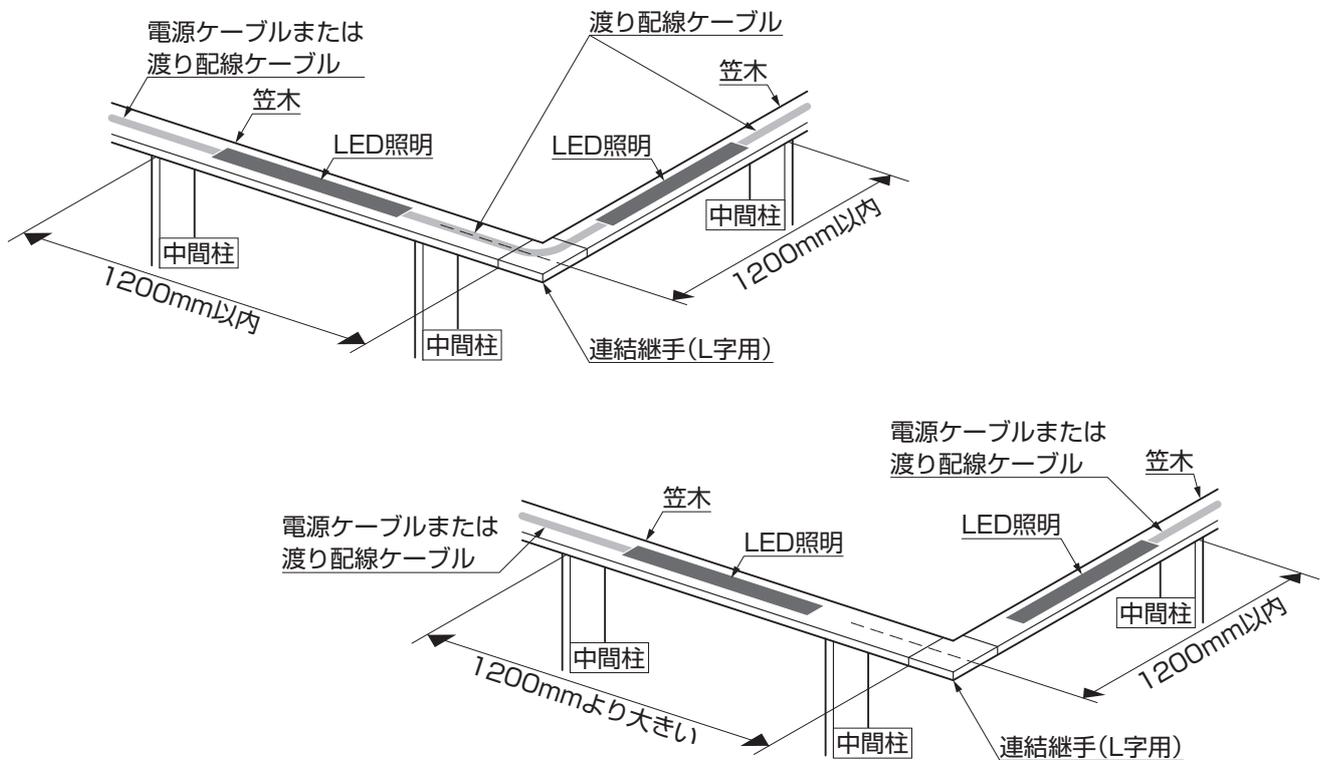
### 1-5 直線連結、L字連結納まりの場合



#### Pポイント

- 継手から照明用笠木カバー端部キャップまでは50mm以上としてください。
- 中間柱の側面から照明用笠木カバー端部キャップまでは50mm以上としてください。

### 1-6 L字連結納まりの場合の注意点



#### Pポイント

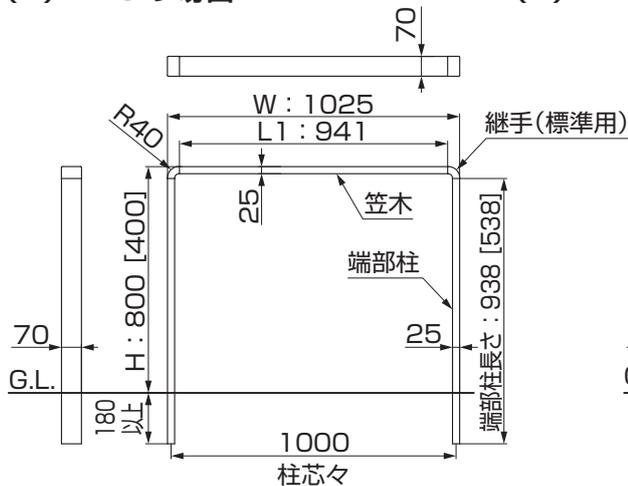
- 連結継手(L字用)側の笠木端部から中間柱の中心までは1200mm以内としてください。  
(渡り配線ケーブルが届かなくなります。)
- 1200mmより大きくする場合は反対側の笠木から電源ケーブルや渡り配線ケーブルを通してください。

※図はH08の場合です。[ ] 内寸法はH04の場合です。  
 ※柱の埋め込み寸法が180mmを超える部分は深く埋め込むか切り詰めて対応可能です。

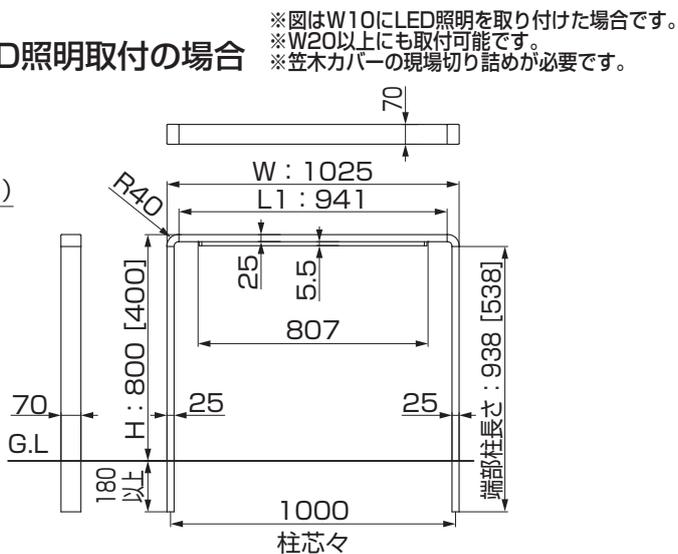
## 2. 基本寸法と各部の名称

### 2-1 標準納まり

#### (1) W10の場合

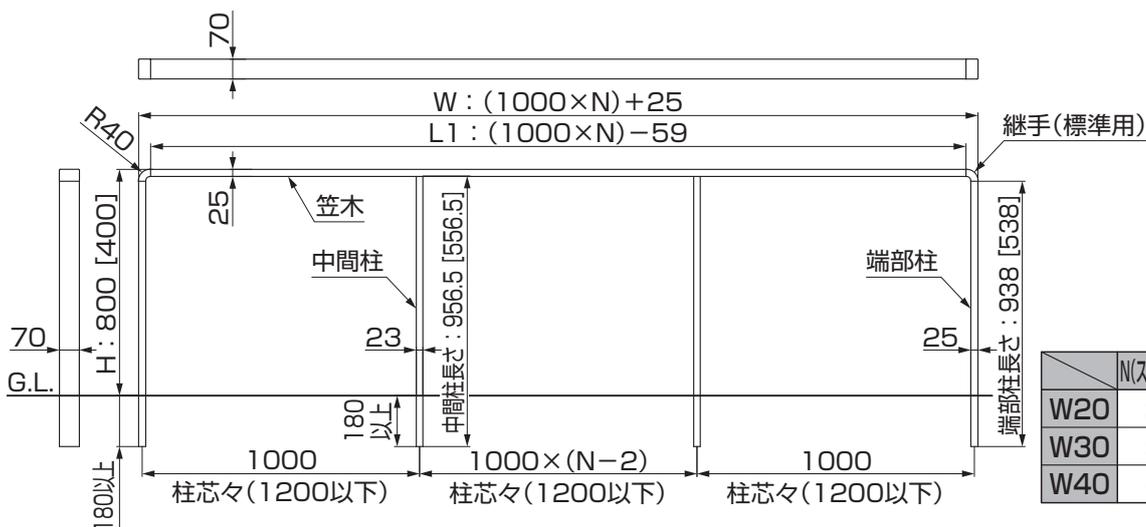


#### (2) LED照明取付の場合



#### (3) W20 ~ W40の場合

※図はW30の場合です。 ※笠木カバーの現場切り詰めが必要です。

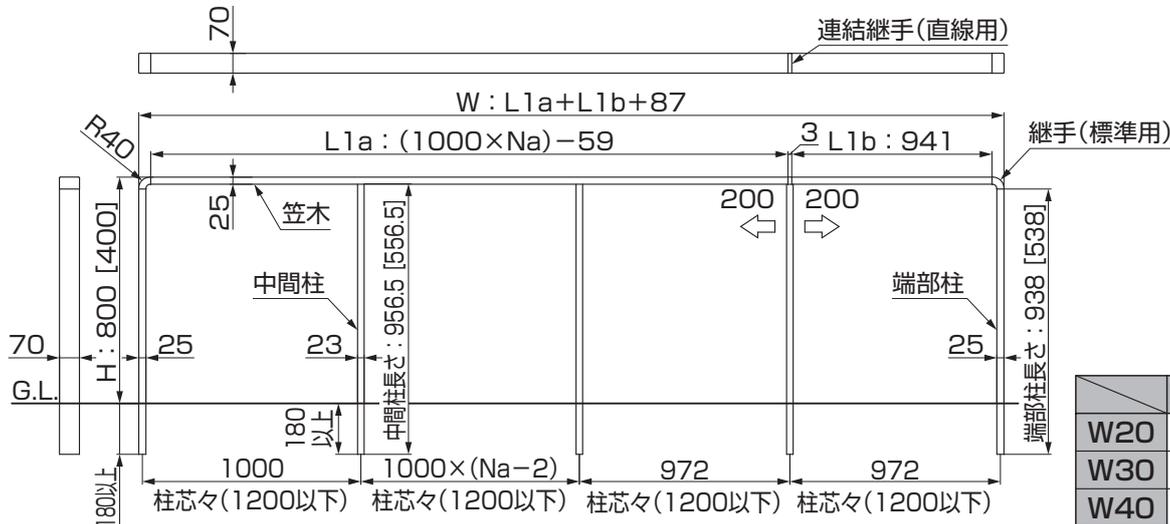


	N(スパン数)	W	L1
W20	2	2025	1941
W30	3	3025	2941
W40	4	4025	3941

### 2-2 連結納まり

#### (1) W10を直線連結する場合

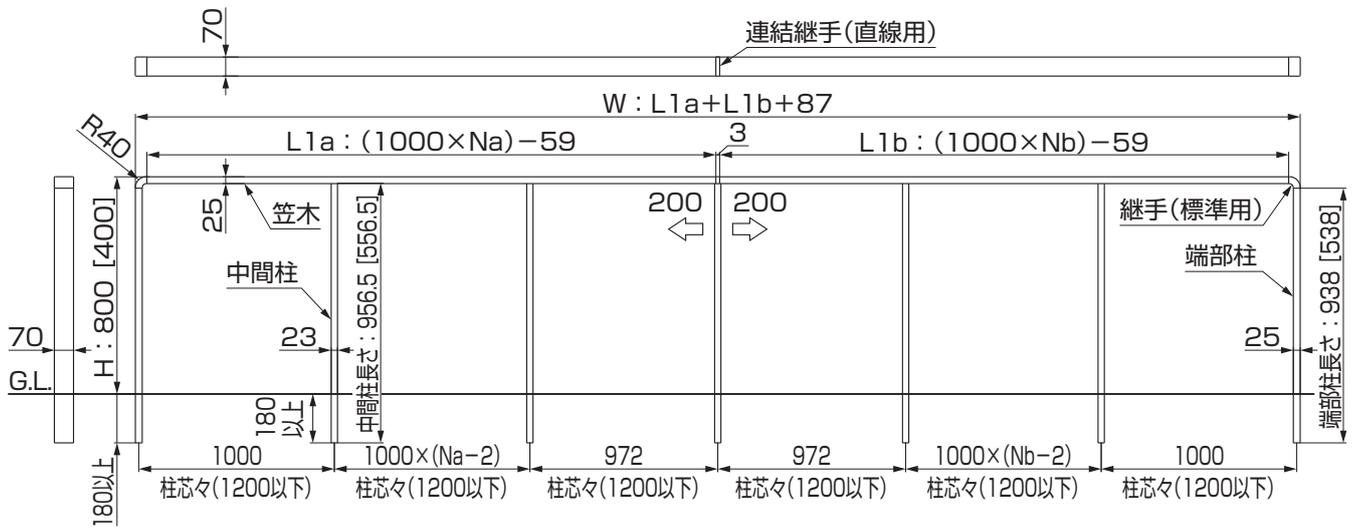
※図はW30+W10の場合です。 ※笠木カバーの現場切り詰めが必要です。



	Na(スパン数)	L1a
W20	2	1941
W30	3	2941
W40	4	3941

**(2)W20以上を直線連結する場合**

※図はW30+W30の場合です。 ※笠木カバーの現場切り詰めが必要です。

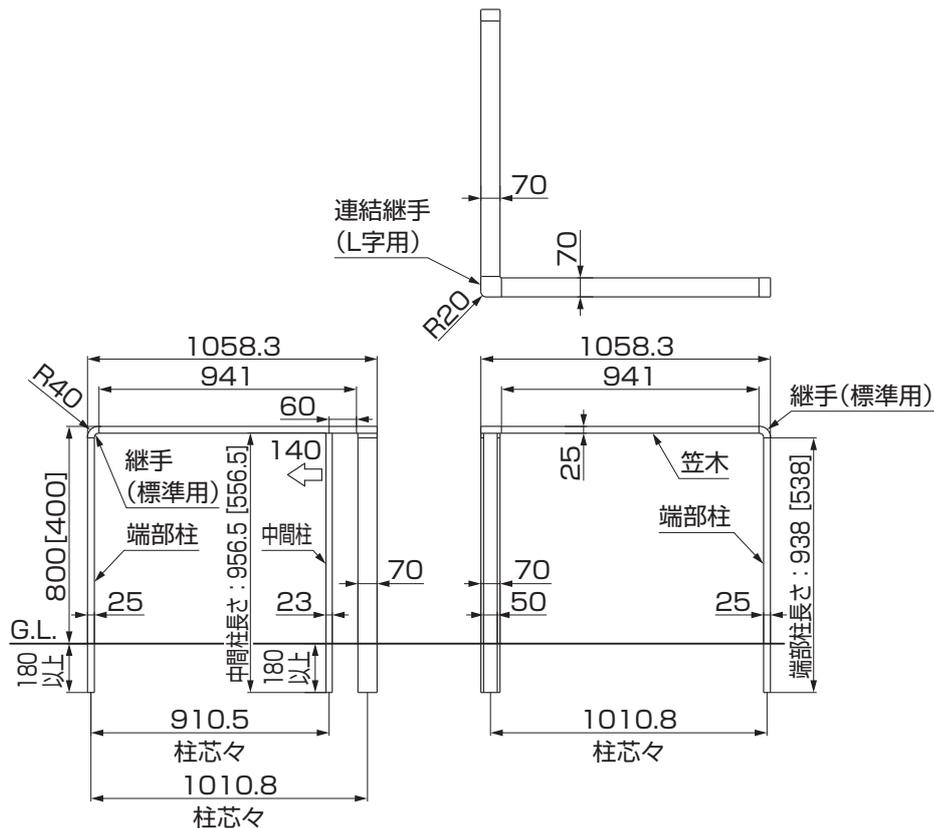


	Na, Nb (スパン数)	L1a	L1b
W20	2	1941	1941
W30	3	2941	2941
W40	4	3941	3941

**2-3 L字連結納まり**

**(1)W10同士をL字連結する場合**

※笠木カバーの現場切り詰めが必要です。



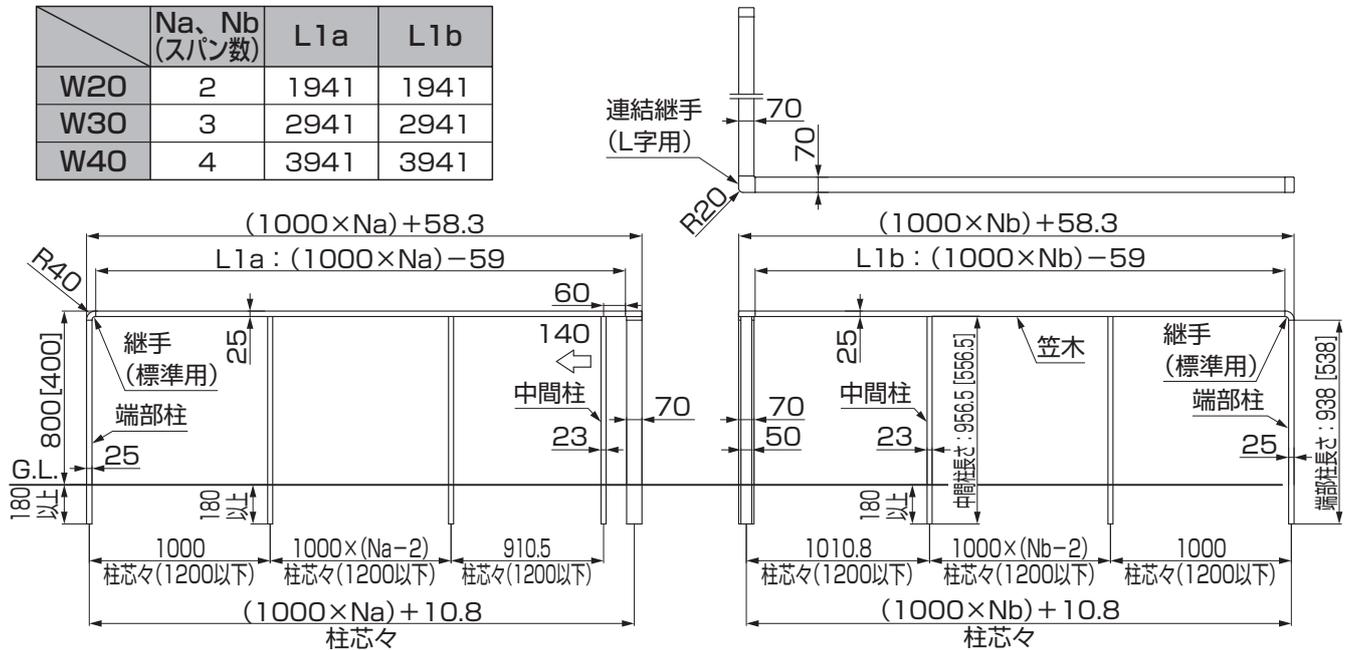
## 2. (つづき)

### 2-3 (つづき)

#### (2) W20以上同士をL字連結する場合

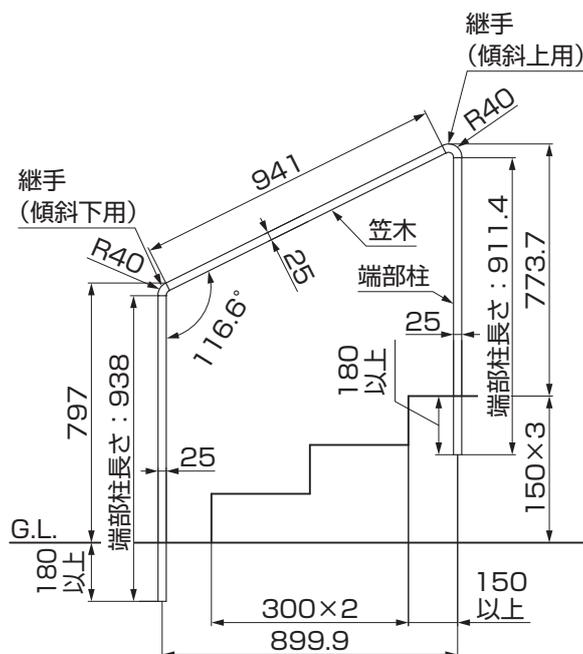
※図はW30+W30の場合です。 ※笠木カバーの現場切り詰めが必要です。

	Na, Nb (スパン数)	L1a	L1b
W20	2	1941	1941
W30	3	2941	2941
W40	4	3941	3941



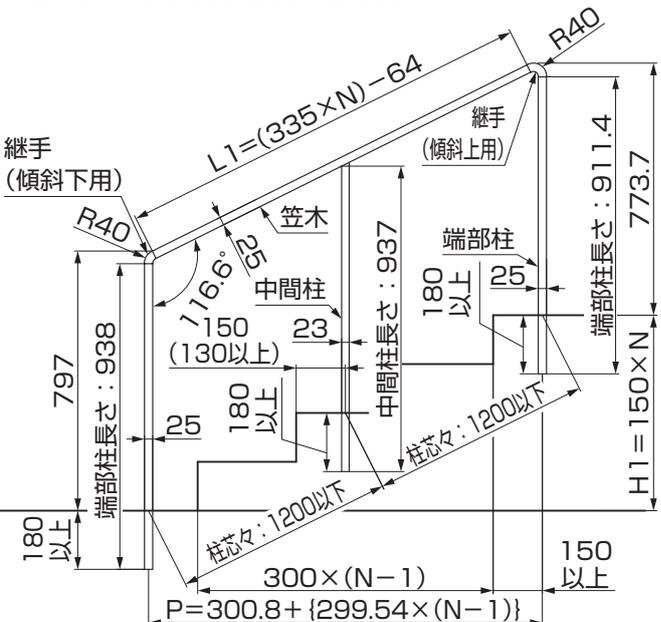
### 2-4 傾斜納まり

#### (1) ステップが3段の場合



#### (2) ステップがその他の段数の場合

※図はステップが4段の場合です。  
 ※ステップが4段以上の場合は傾斜部に中間柱の追加が必要です。  
 ※中間柱は柱芯々寸法が1200以下になる位置に追加してください。  
 ※笠木カバーの現場切り詰めが必要です。

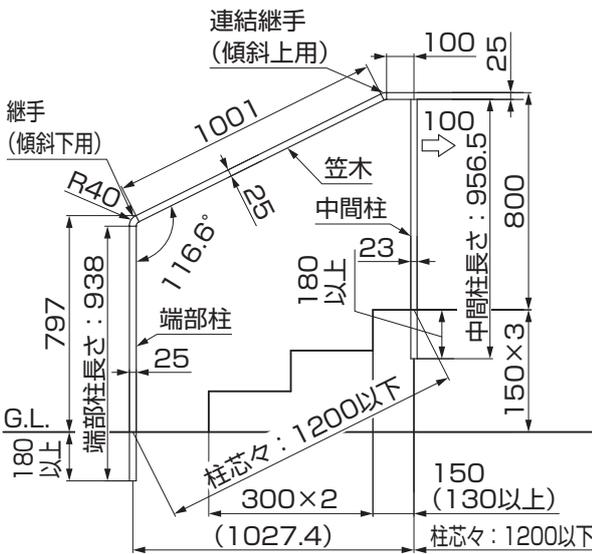


N(ステップ数)	P	L1	H1	N(ステップ数)	P	L1	H1
1	300.8	271	150	4	1199.4	1276	600
2	600.3	606	300	5	1499	1611	750
3	899.9	941	450	6	1798.5	1946	900

## 2-5 傾斜(下)+標準納まり

### (1)ステップが3段の場合

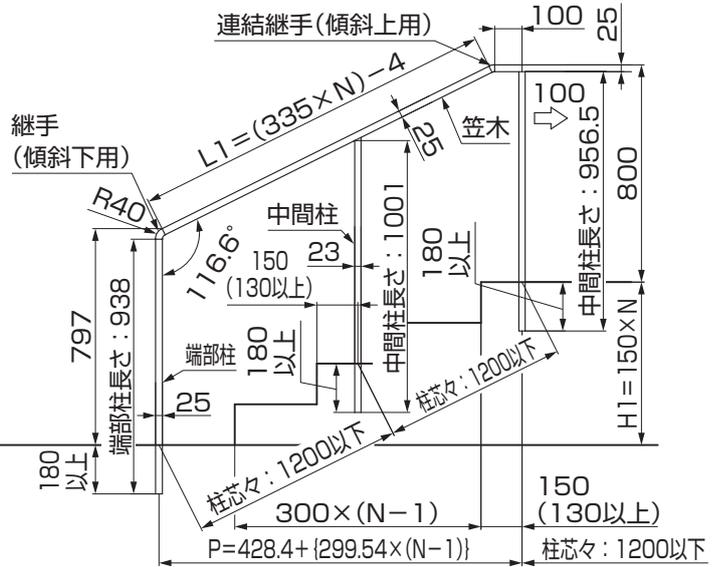
- ※傾斜部の笠木はW20用より大きいサイズからの切り詰め、あるいは特注が必要です。
- ※傾斜上側の中間柱を移動させて柱芯々が1200を超える場合、傾斜部に中間柱の追加が必要です。
- ※笠木カバーの現場切り詰めが必要です。



N(ステップ数)	P	L1	H1
1	428.4	331	150
2	727.9	666	300
3	1027.5	1001	450

### (2)ステップがその他の段数の場合

- ※図はステップが4段の場合です。
- ※ステップが4段以上の場合は傾斜部に中間柱の追加が必要です。
- ※中間柱は柱芯々寸法が1200以下になる位置に追加してください。
- ※笠木カバーの現場切り詰めが必要です。

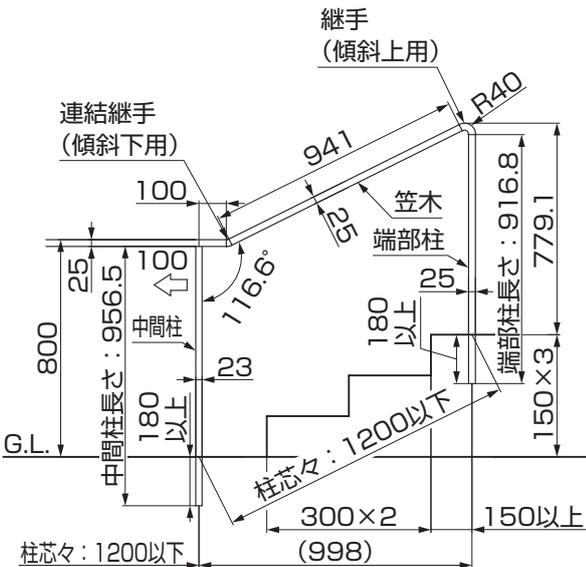


N(ステップ数)	P	L1	H1
4	1327	1336	600
5	1626.6	1671	750
6	1926.1	2006	900

## 2-6 標準+傾斜(上)納まり

### (1)ステップが3段の場合

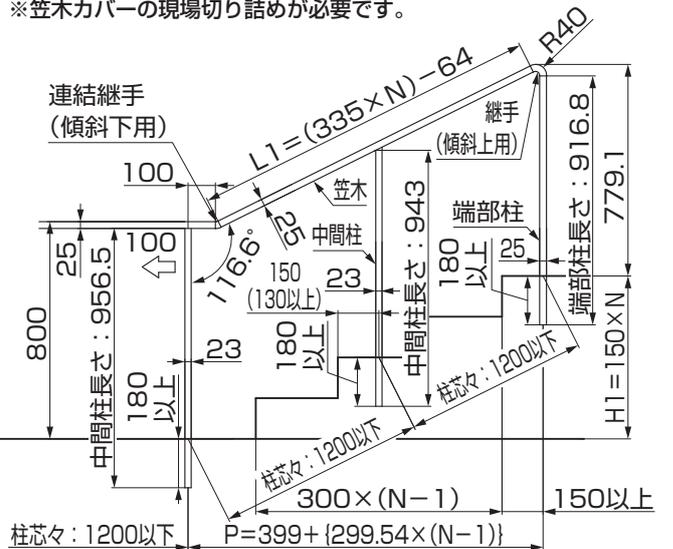
- ※笠木カバーの現場切り詰めが必要です。



N(ステップ数)	P	L1	H1
1	399	271	150
2	698.5	606	300
3	998.1	941	450

### (2)ステップがその他の段数の場合

- ※図はステップが4段の場合です。
- ※ステップが4段以上の場合は傾斜部に中間柱の追加が必要です。
- ※中間柱は柱芯々寸法が1200以下になる位置に追加してください。
- ※笠木カバーの現場切り詰めが必要です。



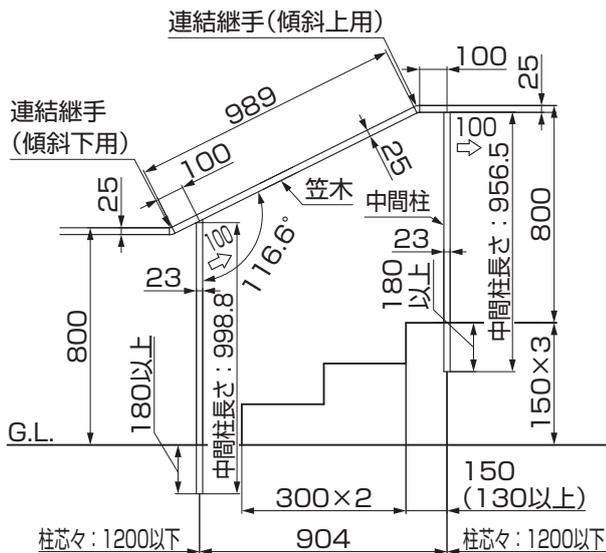
N(ステップ数)	P	L1	H1
4	1297.6	1276	600
5	1597.2	1611	750
6	1896.7	1946	900

## 2. (つづき)

### 2-7 標準+傾斜+標準納まり

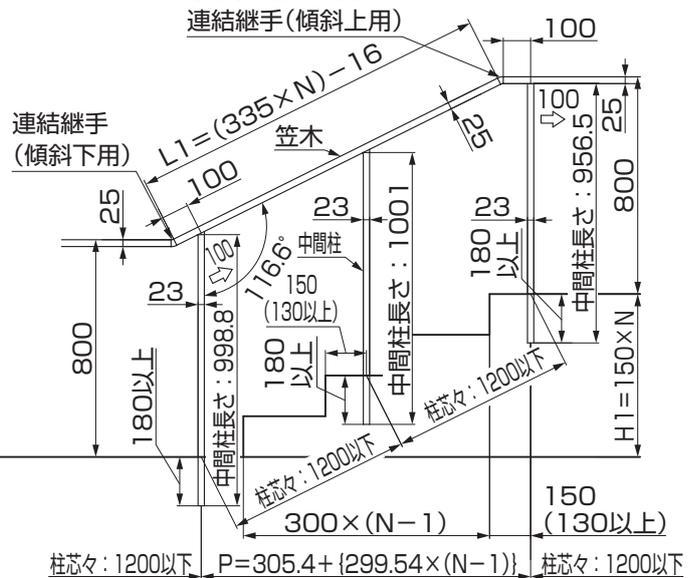
#### (1)ステップが3段の場合

- ※図はステップが3段の場合です。
- ※傾斜部の笠木はW20用より大きいサイズからの切り詰め、あるいは特注が必要です。
- ※傾斜部に中間柱が少なくとも1本は必要です。
- ※笠木カバーの現場切り詰めが必要です。



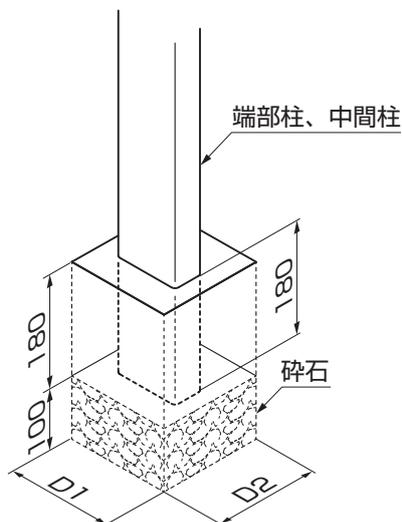
#### (2)ステップがその他の段数の場合

- ※図はステップが4段の場合です。
- ※傾斜部に中間柱が少なくとも1本は必要です。
- ※ステップが4段以上の場合は傾斜部に中間柱の追加が必要です。
- ※中間柱は柱芯々寸法が1200以下になる位置に追加してください。
- ※笠木カバーの現場切り詰めが必要です。



N(ステップ数)	P	L1	H1	N(ステップ数)	P	L1	H1
1	305.4	319	150	4	1204	1324	600
2	604.9	654	300	5	1503.6	1659	750
3	904.5	989	450	6	1803.1	1994	900

## 3. 基礎の施工 ※独立基礎で施工する場合の作業です。



	H04	H08
D1	150	350
D2	150	350

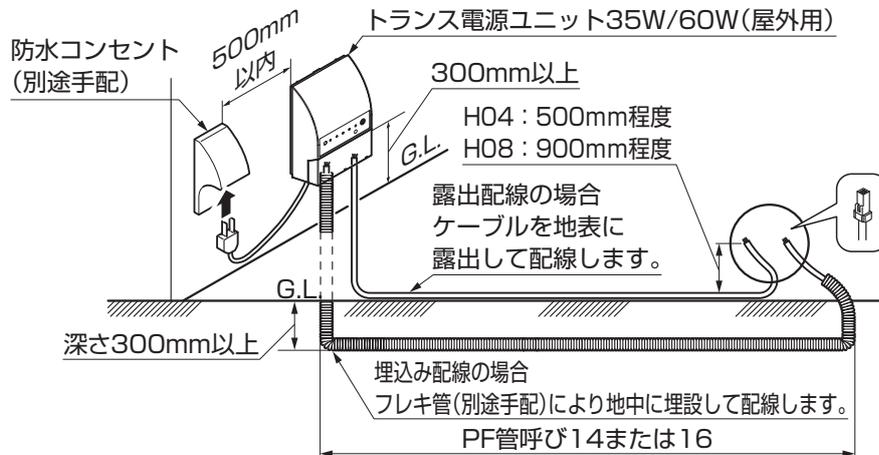
### Pポイント

- 端部柱、中間柱、笠木をすべて組み終えてから、添え木等でしっかり固定し、コンクリートを打設してください。

- ①基礎穴を掘り、砕石を敷いてください。
- ②端部柱、中間柱を基礎穴に建込み、コンクリートを打設してください。

## 4. 配線の引き込み

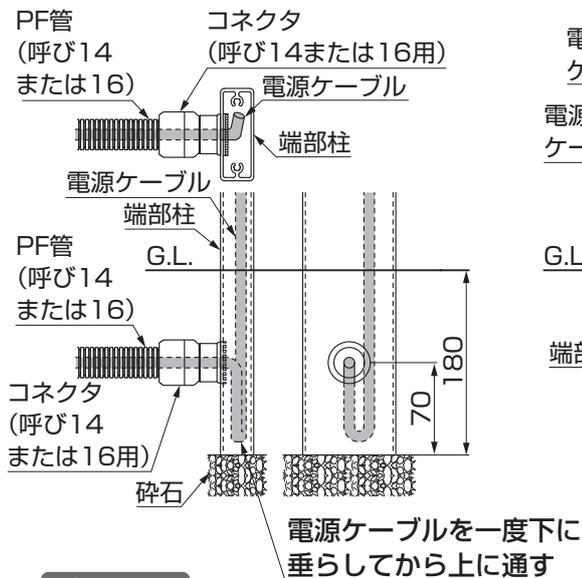
### 4-1 配線工事



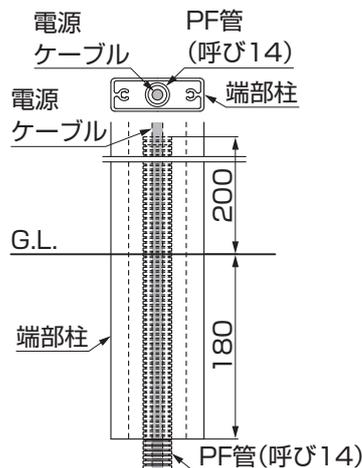
#### P ポイント

- 埋込み配線の場合で車両その他の重量物の圧力を受けるおそれのある場所においては深さ600mm以上にしてください。
- トランス電源側の配管は、G.L.より300mm以上必ず立ち上げてください。
- トランス電源ユニットの取付けは「トランス電源ユニット35W / 60W 屋外用 取付説明書(Z546)」を併せて参照してください。
- 防水コンセントは別途手配してください。
- 躯体側から配線配管をする場合は、躯体側に配線を出してください。
- 地下埋設する場合のPF管は、現場で手配してください。
- 電源ケーブルの長さを調整する場合は、トランス電源ユニット側を切詰めてください。

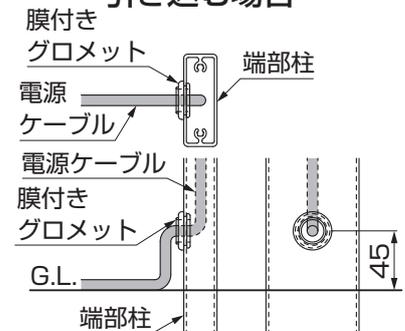
### 4-2 地中で側面から引き込む場合



### 4-3 地中で真下から引き込む場合



### 4-4 地上で側面から引き込む場合



#### ⚠ 注意

- 柱の埋め込み側の端部には必ず碎石などを敷いて端部柱内部に入った水が溜まらないようにしてください。

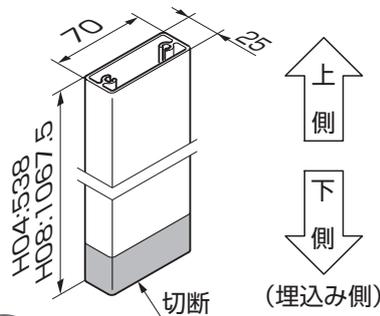
#### P ポイント

- 配線の引き込みは端部柱のみ可能です。(中間柱からは引き込めません。)

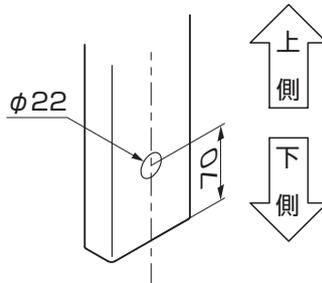
①配線を引き込む場合は上記を参照して引き込んでください。

## 5. 部材の加工 ※「2 基本寸法と各部の名称」を参照して、部材の必要長さを確認してください。

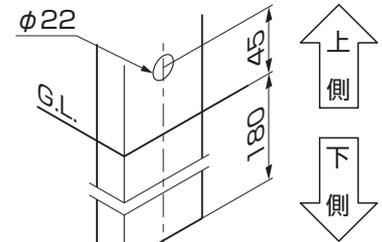
### 5-1 端部柱の加工



【LED照明用の配線を地中で  
端部柱の側面から引き込む場合】



【LED照明用の配線を地上で  
端部柱の側面から引き込む場合】

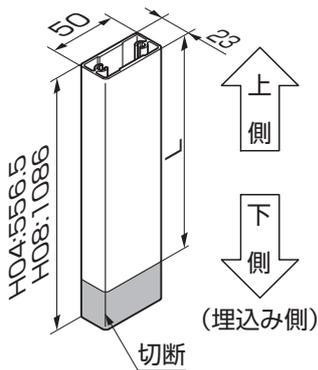


#### Pポイント

- 上下の区別はありません。加工した側を下側(埋め込み側)にしてください。

①端部柱を加工してください。

### 5-2 中間柱の加工

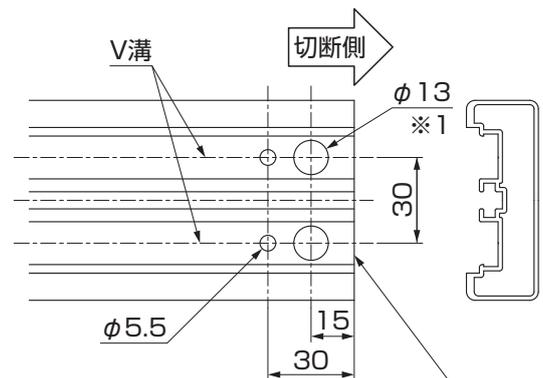
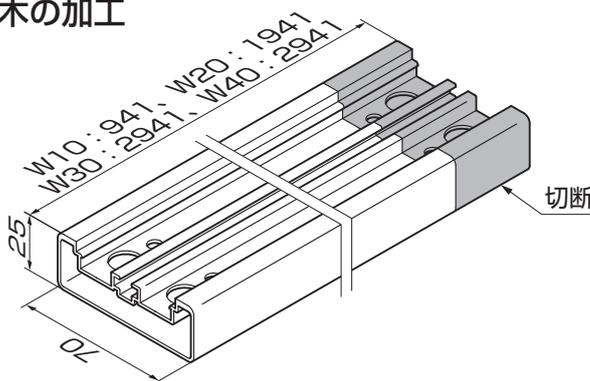


#### Pポイント

①中間柱を加工してください。

- 上下の区別はありません。加工した側を下側(埋め込み側)にしてください。
- 傾斜部分の中間柱の位置を移動させた場合は柱の長さが変わります。以下を参考に長さを算出してください。  
 $L = (\text{移動前の長さ}) + \{(\text{移動距離}) \times 0.78\}$   
 ※P10～13の図面で、右に移動した場合は+(プラス)で、左に移動した場合は-(マイナス)で計算してください。

### 5-3 笠木の加工



切断面はバリ取り(面取りC0.5以上)後、補修塗料を塗布してください。

#### 注意

- 現場切断した切断面はバリをヤスリなどで取り除き、補修塗料を必ず塗布してください。(笠木端部で手を傷つけるおそれがあります。)

#### Pポイント

- ※1: φ13の穴加工は、切断側に連結継手(直線側、L字用、傾斜用)が取付く場合は不要です。

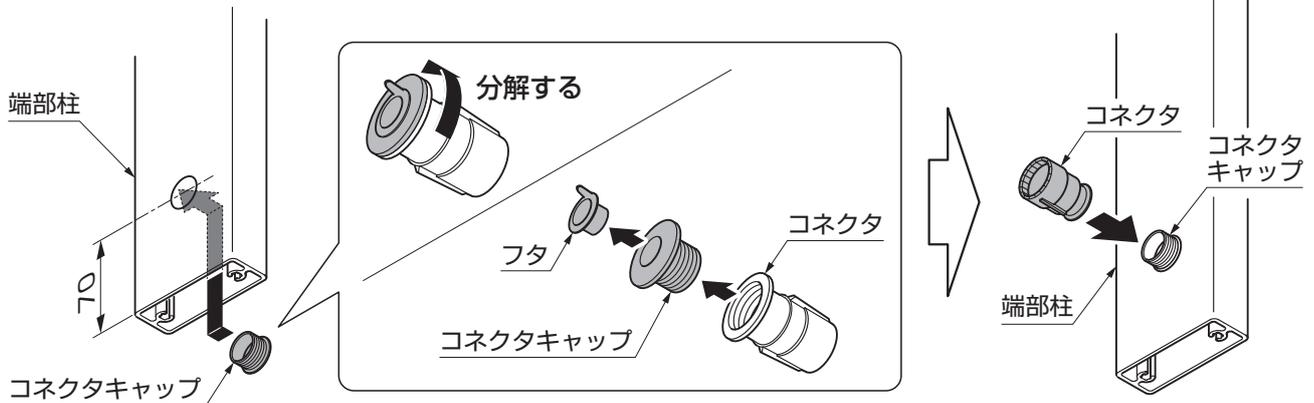
①笠木を加工してください。

## 6. 部材の組立て

### 6-1 端部柱の組立て

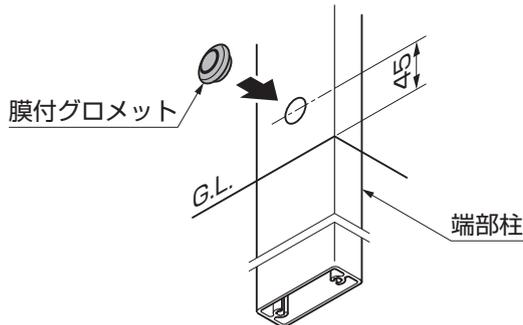
(1) 電源ケーブル引込み部品の取付け ※LED照明を取付ける場合の作業です。

【配線を地中で柱の側面から引込む場合】



- ①コネクタキャップを端部柱の内側からはめ込んでください。
- ②コネクタをコネクタキャップにはめ込んでください。

【配線を地上で柱の側面から引込む場合】



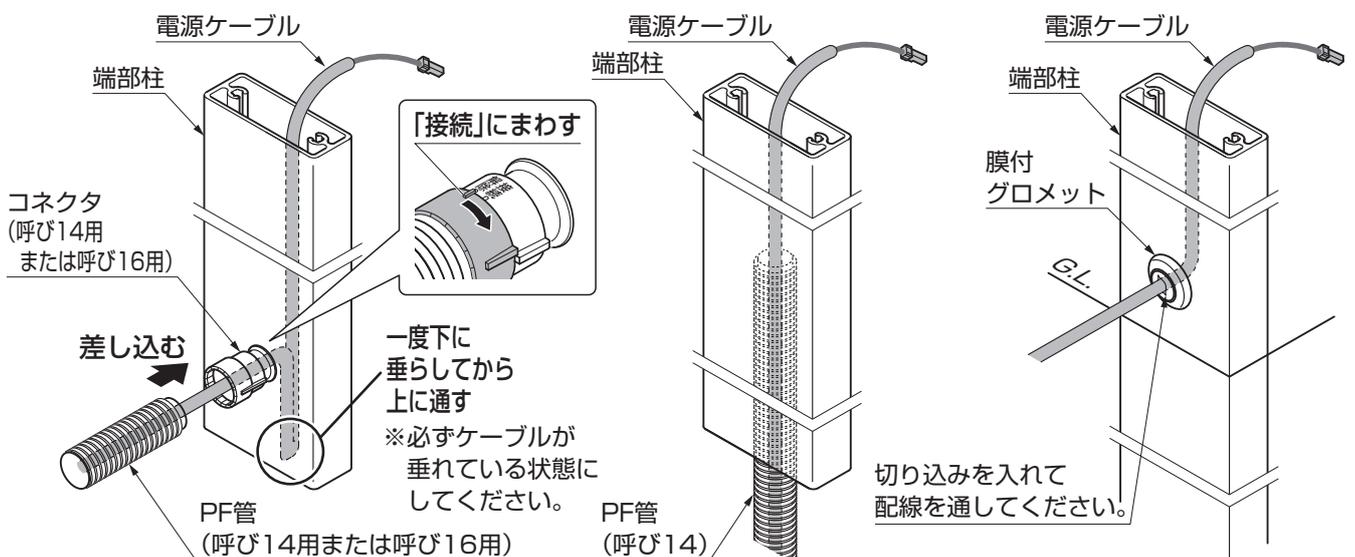
- ①膜付グロメットを端部柱にはめ込んでください。

(2) 電源ケーブルの引込み ※LED照明を取付ける場合の作業です。

【地中で柱の側面から引込む場合】

【地中で真下から引込む場合】

【地上で柱の側面から引込む場合】



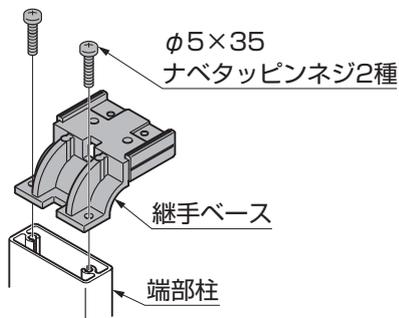
- ①上図を参照して電源ケーブルを引き込んでください。

## 7. 部材の取付け

※連結継手の取付けがある場合は 7-3 も参照して取付けてください。

### 7-1 標準の場合の施工方法

#### (1) 柱の組立て

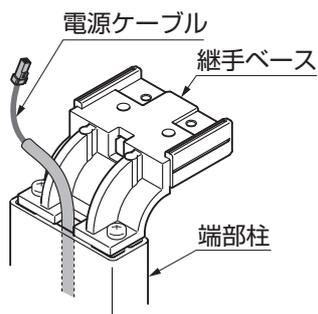


① 継手ベースを端部柱に【ネジ】で取付けてください。

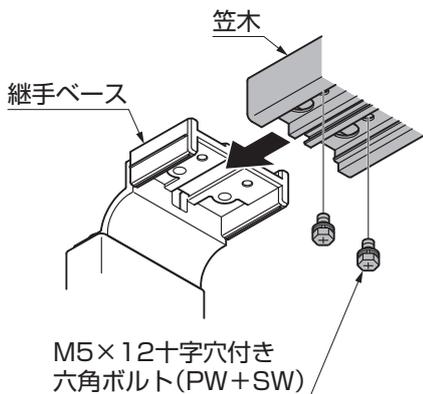
#### Pポイント

##### 【LED照明を取付ける場合】

●電源ケーブルを引出しておいてください。



#### (3) 笠木の取付け

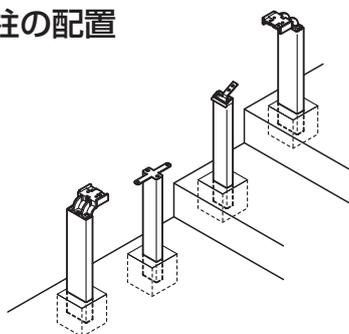


① 笠木を継手ベースに【ボルト】で取付けてください。

#### ⚠注意

●笠木と継手は、すき間がないように取付けてください。(笠木端部で手を傷つけるおそれがあります。)

#### (2) 柱の配置



① 納まりを確認し、柱を仮固定してください。

#### Pポイント

●柱の本固定は全ての部材、部品の取付けが完了後に行なってください。

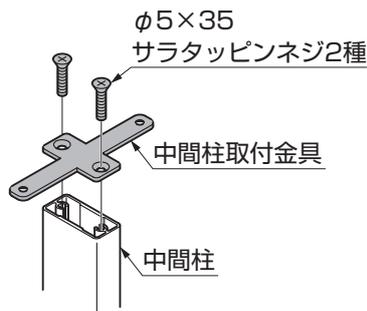
#### Pポイント

●笠木・端部柱と継手の段差は均等になるように取付けてください。

#### (5) 中間柱を取付ける場合

##### 【中間柱の組立て】

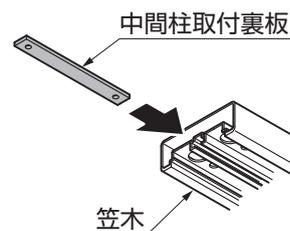
※「(1)柱の組立て」と同時に行なってください。



① 中間柱取付金具を中間柱に【ネジ】で取付けてください。

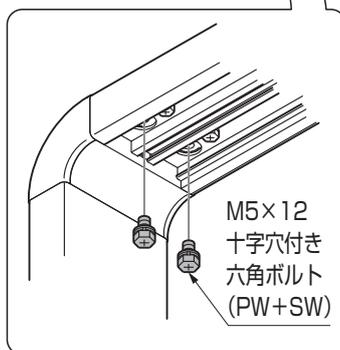
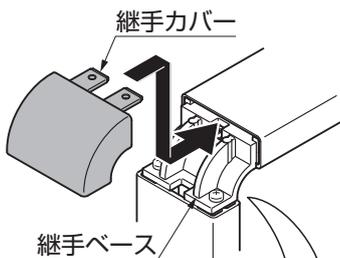
##### 【裏板の挿入】

※「(3)笠木の取付け」の前に行なってください。



② 裏板を笠木に中間柱の本数分挿入してください。

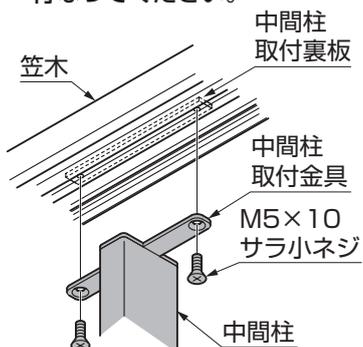
#### (4) 継手カバーの取付け



① 継手ベースに継手カバーをはめ込んで【ボルト】で取付けてください。

#### 【笠木の取付け】

※「(3) 笠木の取付け」と同時に行なってください。

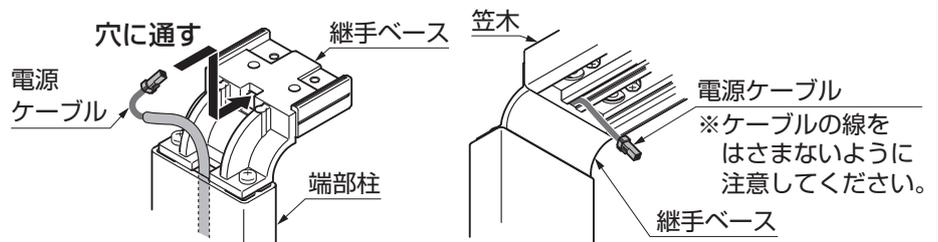


③ 中間柱を裏板に【ネジ】で取付けてください。

#### P ポイント

##### 【LED照明を1スパンのみ取付ける場合】

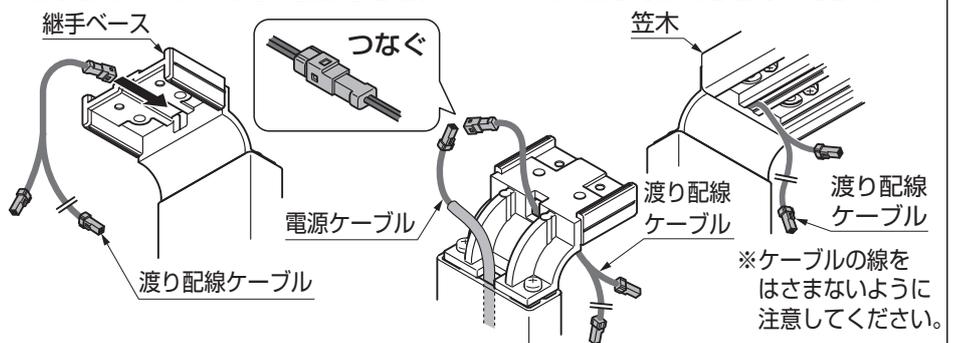
● 電源ケーブルを継手ベースに先に通してください。



#### P ポイント

##### 【LED照明を2スパン以上取付ける場合】

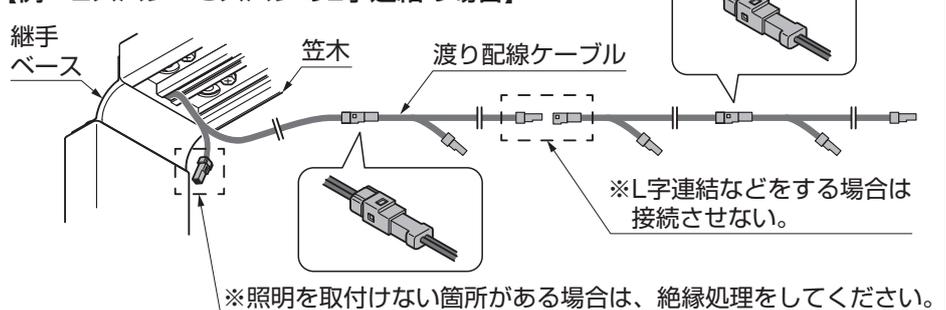
● 渡り配線ケーブルの分岐前部分を継手ベースに先に通して接続させてください。



● 全ての渡り配線を接続させてから中間柱を取付けてください。

● L字連結、傾斜連結(上下共に)が入る場合は接続させないでください。

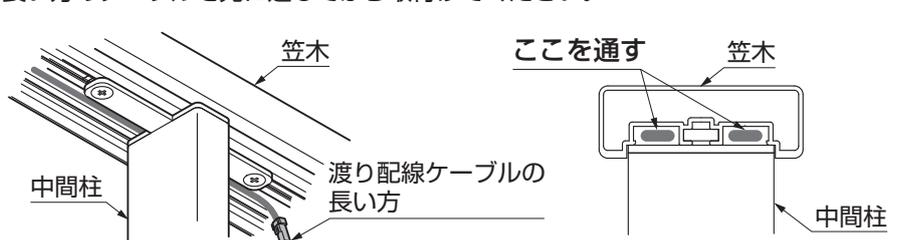
##### 【例：2スパン+3スパンのL字連結の場合】



#### P ポイント

##### 【LED照明を取付けて、渡り配線ケーブルを使用する場合】

● 長い方のケーブルを先に通してから取付けてください。



## 7. (つづき) ※連結継手の取付けがある場合は 7-3 も参照して取付けてください。

### 7-2 傾斜の場合の施工方法

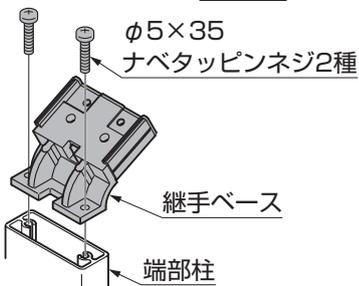
#### ⚠ 注意

●笠木と継手は、すき間がないように取付けてください。(笠木端部で手を傷つけるおそれがあります。)

#### P ポイント

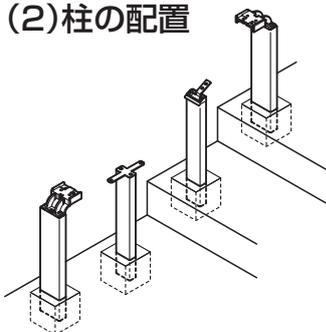
●笠木・端部柱と継手の段差は均等になるように取付けてください。

#### (1) 柱の組立て 傾斜下



①継手ベースを端部柱に【ネジ】で取付けてください。

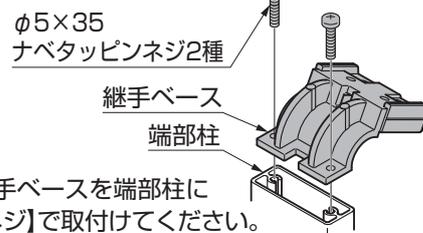
#### (2) 柱の配置



#### P ポイント

●柱の本固定は全ての部材、部品の取付けが完了後に行なってください。

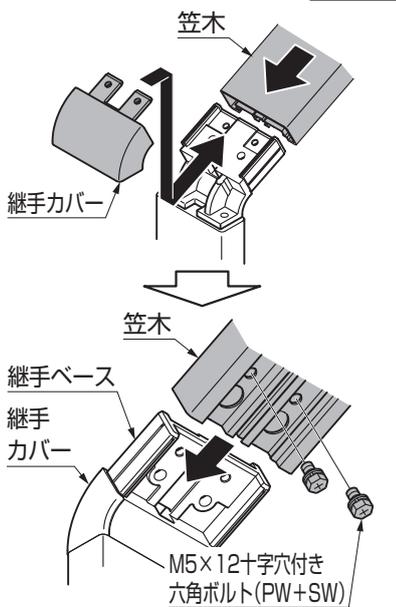
#### (1) 柱の組立て 傾斜上



①継手ベースを端部柱に【ネジ】で取付けてください。

#### (3) 笠木の取付け 傾斜下

#### (4) 継手カバーの取付け 傾斜下



- ①笠木を継手ベースに【ボルト】で取付けてください。
- ②継手ベースに継手カバーをはめ込んで【ボルト】で取付けてください。

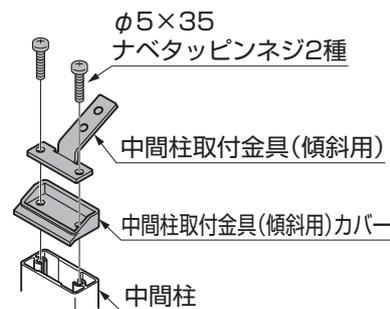
#### P ポイント

●取付けの際は継手カバーと笠木を同時に取付けてください。

#### (5) 中間柱を取付ける場合

##### 【中間柱の組立て】

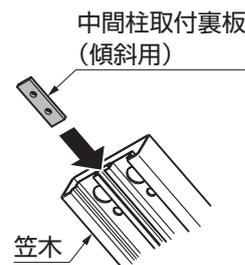
※「(1)柱の組立て」と同時に行なってください。



①中間柱取付金具と中間柱取付金具カバーを中間柱に【ネジ】で取付けてください。

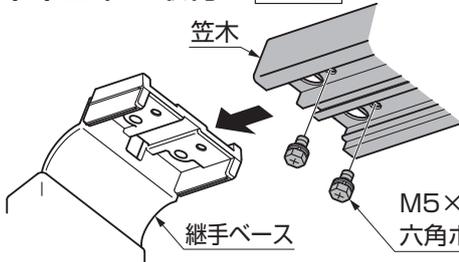
##### 【裏板の挿入】

※「(3)笠木の取付け」の前に行なってください。



②裏板を笠木に中間柱の本数分挿入してください。

### (3) 笠木の取付け **傾斜上**



① 笠木を継手ベースに【ボルト】で取付けてください。

#### **P**ポイント

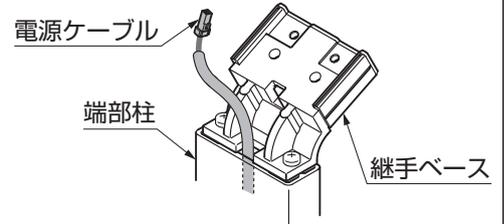
●取付けの際はラチェットを使用して取付けてください。

M5×12十字穴付き六角ボルト(PW+SW)

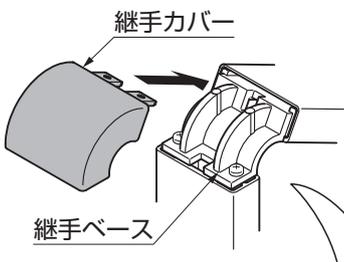
#### **P**ポイント

#### 【LED照明を取付ける場合】

●電源ケーブルを引出しておいてください。

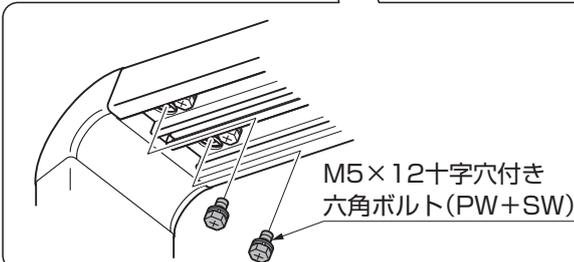


### (4) 継手カバーの取付け **傾斜上**



#### **P**ポイント

●取付けの際はラチェットを使用して取付けてください。

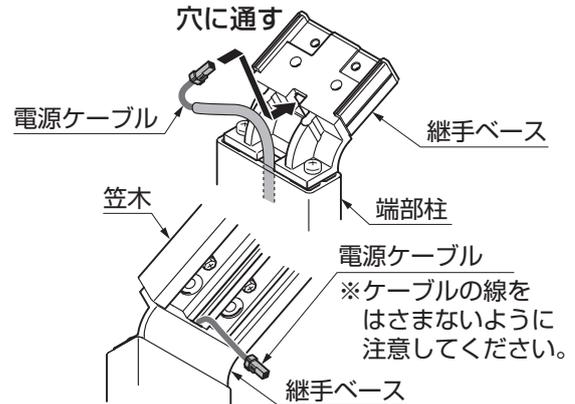


① 継手カバーに継手ベースをはめ込んで【ボルト】で取付けてください。

#### **P**ポイント

#### 【LED照明を1スパンのみ取付ける場合】

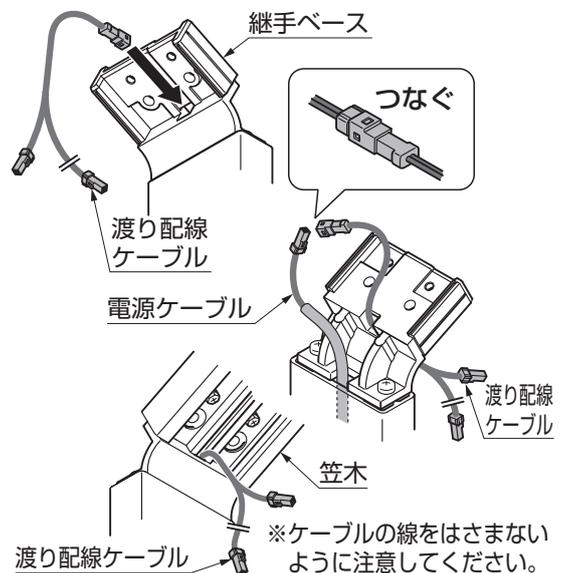
●電源ケーブルを継手ベースに先に通してください。



#### **P**ポイント

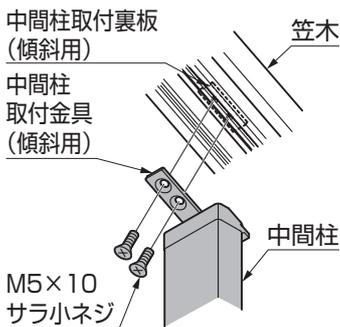
#### 【LED照明を2スパン以上取付ける場合】

●分岐前の部分を継手ベースに先に通してください。



#### 【笠木の取付け】

※「(3) 笠木の取付け」と同時に行なってください。

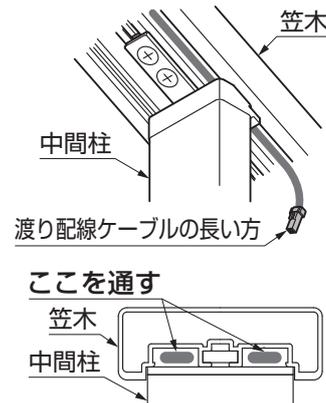


③ 中間柱を裏板に【ネジ】で取付けてください。

#### **P**ポイント

#### 【LED照明を取付けて、渡り配線ケーブルを使用する場合】

●長い方のケーブルを先に通してから取付けてください。



## 7. (つづき)

### 7-3 連結継手の取付け



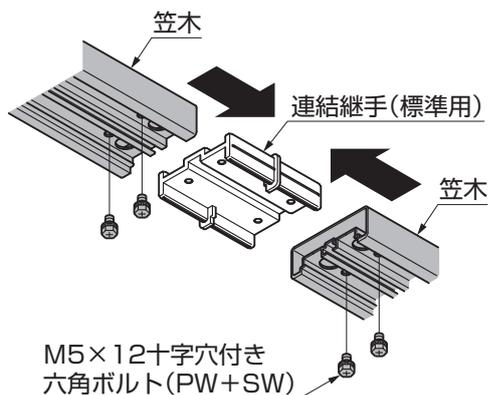
**注意**

- 笠木と継手は、すき間がないように取付けてください。(笠木端部で手を傷つけるおそれがあります。)

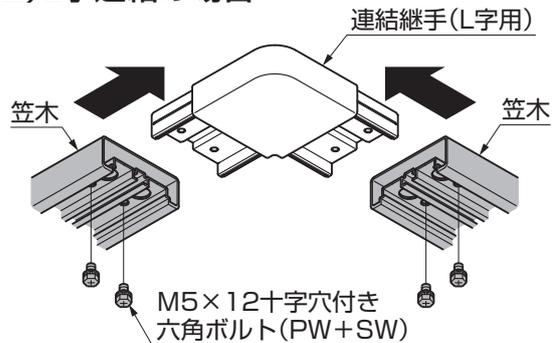
**Pポイント**

- 笠木と継手の段差は均等になるように取付けてください。

#### (1) 直線連結の場合



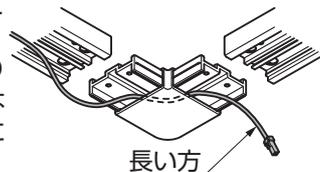
#### (2) L字連結の場合



**Pポイント**

【LED照明を取付けて、渡り配線ケーブルを使用する場合】

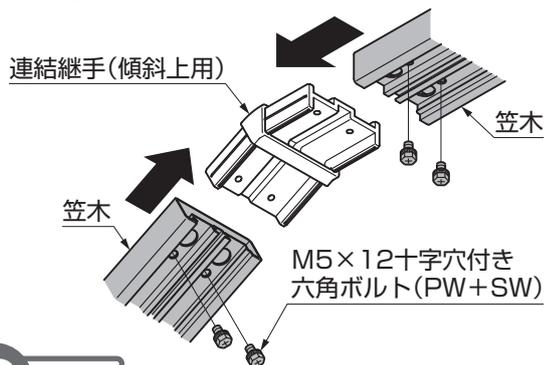
- 長い方のケーブルを先に通してから取付けてください。
- 連結継手以降にも渡り配線を使用する場合は連結継手の取付け後に接続させてください。



- ① 固定している笠木と笠木を連結継手と【ボルト】で固定してください。

- ① 固定している笠木と笠木を連結継手と【ボルト】で固定してください。

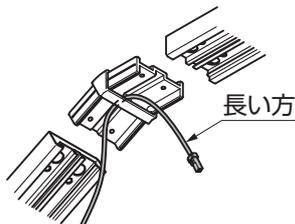
#### (3) 傾斜連結(上側)の場合



**Pポイント**

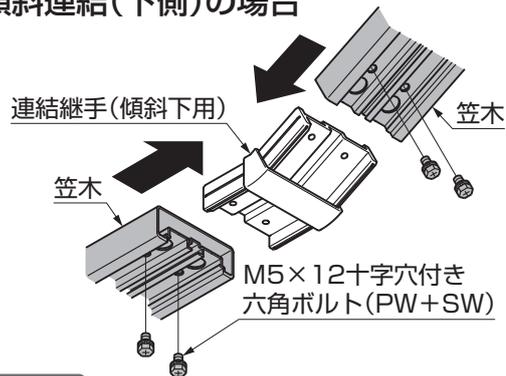
【LED照明を取付けて、渡り配線ケーブルを使用する場合】

- 長い方のケーブルを先に通してから取付けてください。
- 連結継手以降にも渡り配線を使用する場合は連結継手の取付け後に接続させてください。



- ① 固定している笠木と笠木を連結継手と【ボルト】で固定してください。

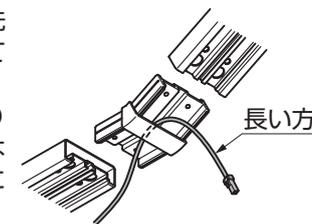
#### (4) 傾斜連結(下側)の場合



**Pポイント**

【LED照明を取付けて、渡り配線ケーブルを使用する場合】

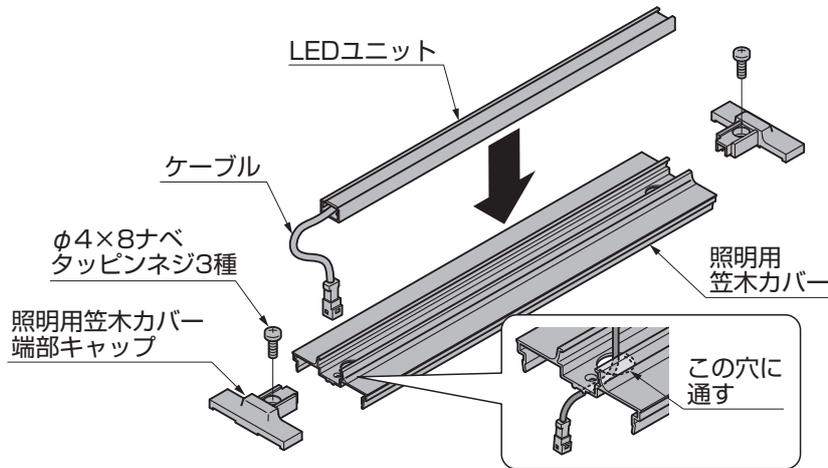
- 長い方のケーブルを先に通してから取付けてください。
- 連結継手以降にも渡り配線を使用する場合は連結継手の取付け後に接続させてください。



- ① 固定している笠木と笠木を連結継手と【ボルト】で固定してください。

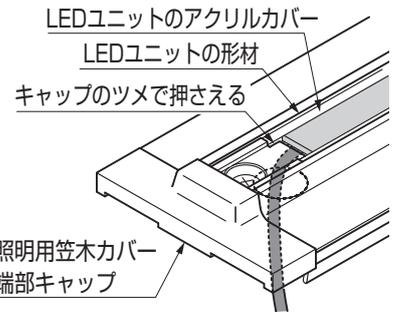
## 8. 照明用笠木カバーの取付け ※LED照明を取付ける場合の作業です。

### 8-1 照明用笠木カバーの組立て



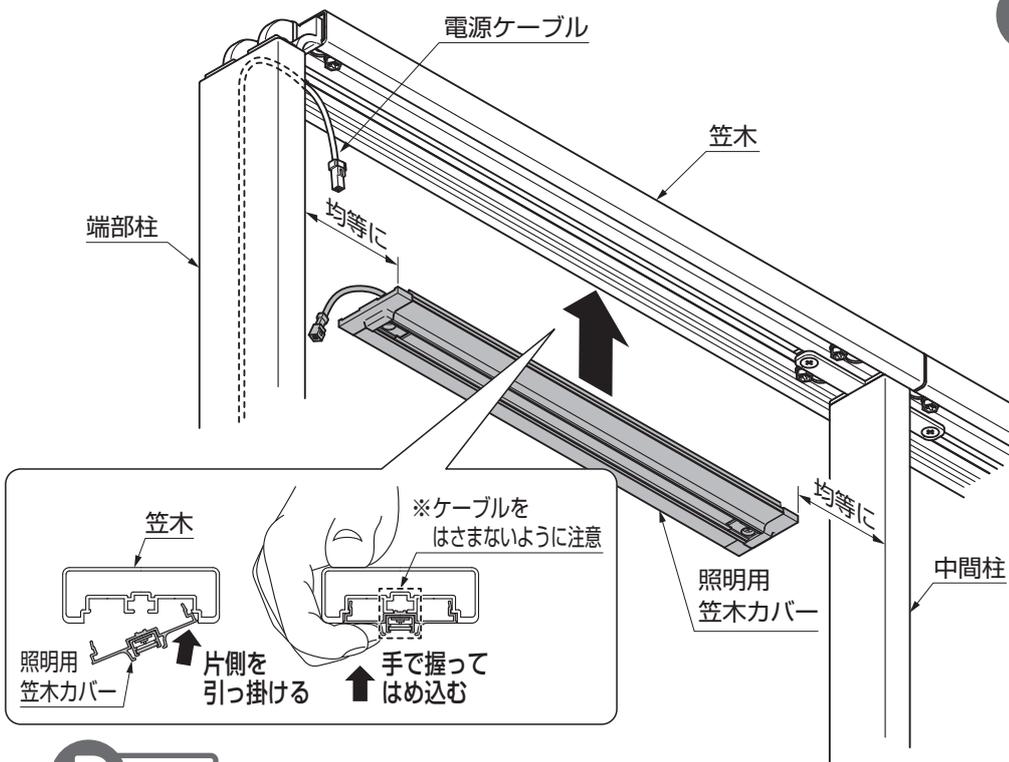
#### P ポイント

- 照明用笠木カバー端部キャップは、キャップでLEDユニットの形材を押さえるように取付けてください。



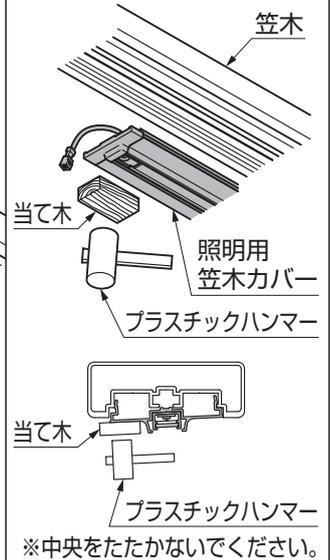
- ①LEDユニットのケーブルを照明用笠木カバーの穴に通してください。
- ②照明用笠木カバー端部キャップを照明用笠木カバーに【ネジ】で取付けてください。

### 8-2 照明用笠木カバーの取付け

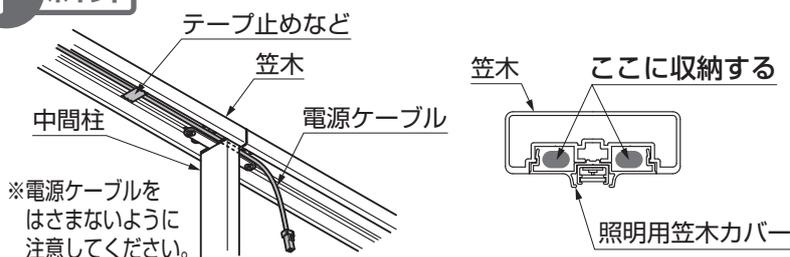


#### P ポイント

- はめ込みにくい場合は当て木をしてプラスチックハンマー等でたたき込んでください。



#### P ポイント

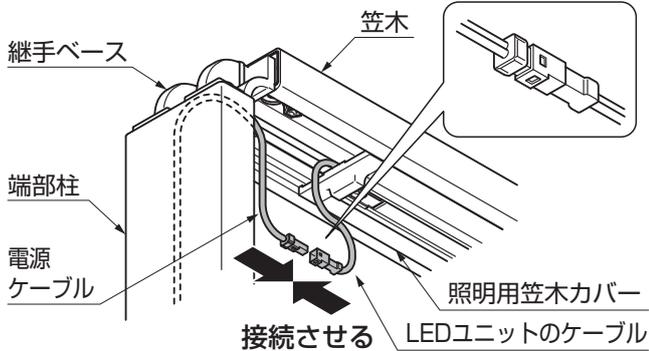


- 照明用笠木カバーを取付ける際は渡り配線ケーブルをはさまないように注意して取付けてください。

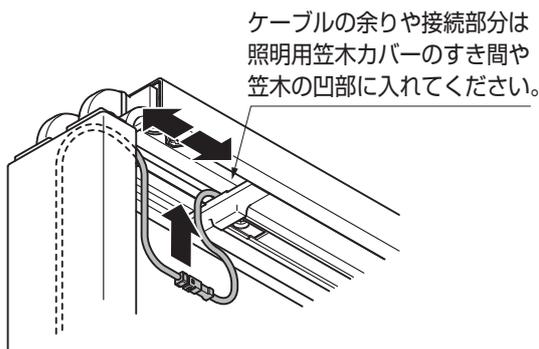
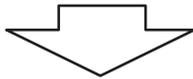
- ①照明用配線カバーを笠木にはめ込んでください。

## 8. (つづき)

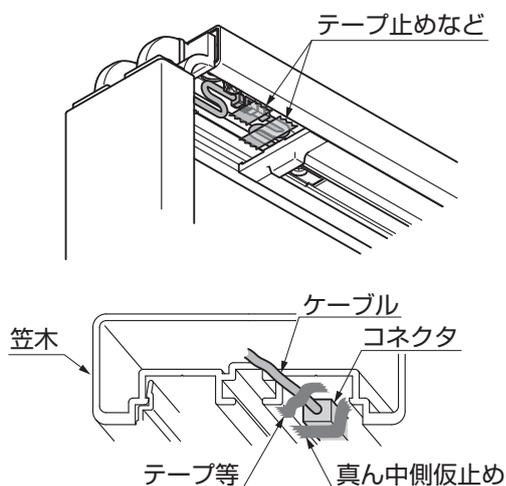
### 8-3 結線



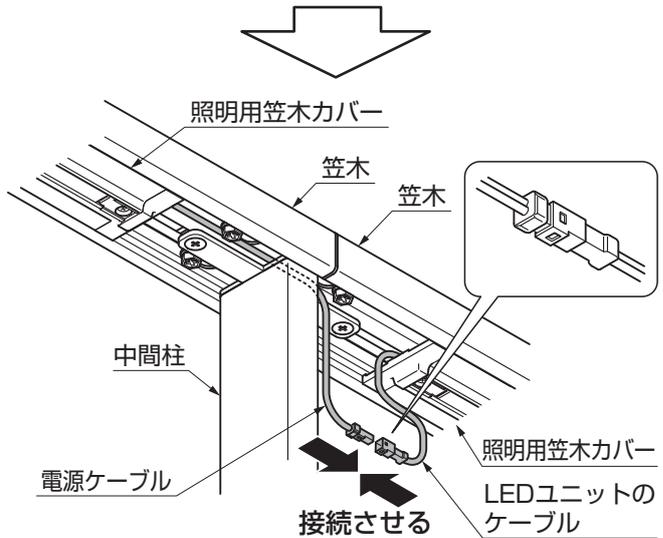
- ① 躯体からでていた電源ケーブルとLEDユニットのケーブルを接続してください。



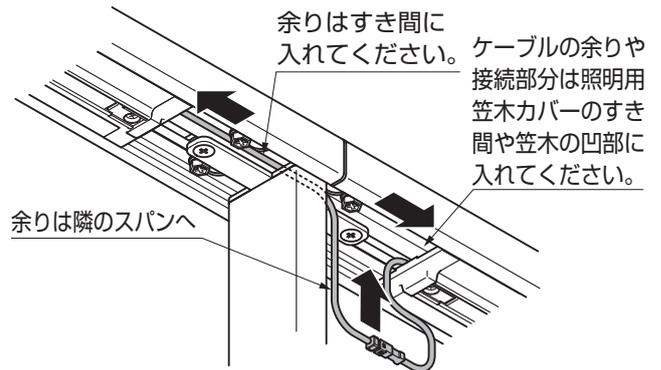
- ① ケーブル、コネクタを部材内部に入れてください。



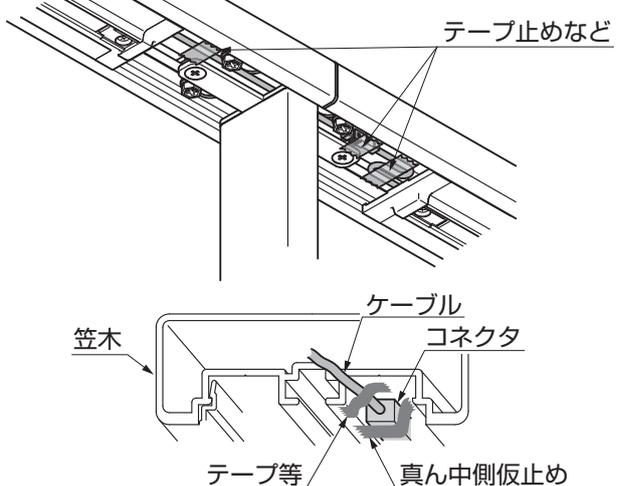
- ① ケーブルをテープなどで固定してください。



- ① LEDユニットのケーブル同士を接続してください。



- ① ケーブル、コネクタを部材内部に入れてください。



- ① ケーブルをテープなどで固定してください。

## 9. 笠木カバーの取付け

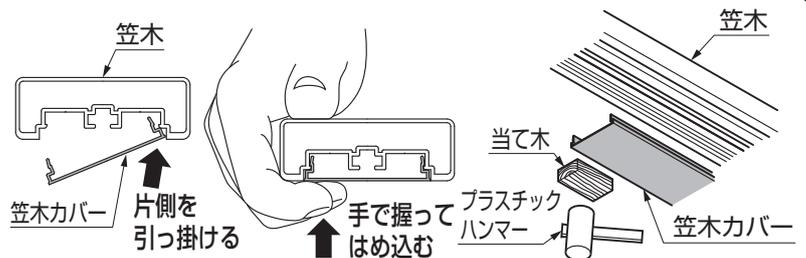
### 9-1 笠木カバーを取付ける際のポイント

#### ⚠ 注意

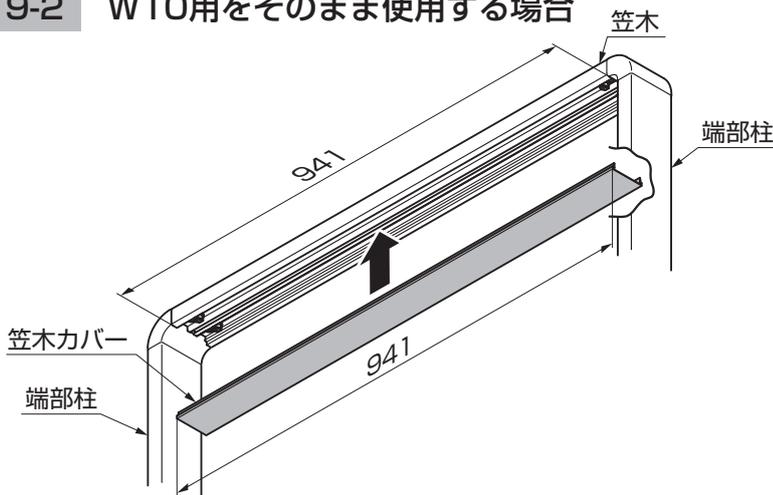
- 笠木カバーを現場切り詰めした場合、現場切断した切断面はバリをヤスリなどで取り除き(面取りC0.5以上)、補修塗料を必ず塗布してください。(笠木カバー端部で手を傷つけるおそれがあります。)
- 笠木カバーの両端部のすき間の合計が1mm以下になるように切断してください。(笠木カバー端部で手を傷つけるおそれがあります。)

#### P ポイント

- 笠木と継手にすき間やネジの緩みがないか確認してから取付けてください。
- 笠木カバーは右図を参考にはめ込んでください。はめ込みにくい場合は当て木をしてプラスチックハンマーなどでたたき込んでください。



### 9-2 W10用をそのまま使用する場合



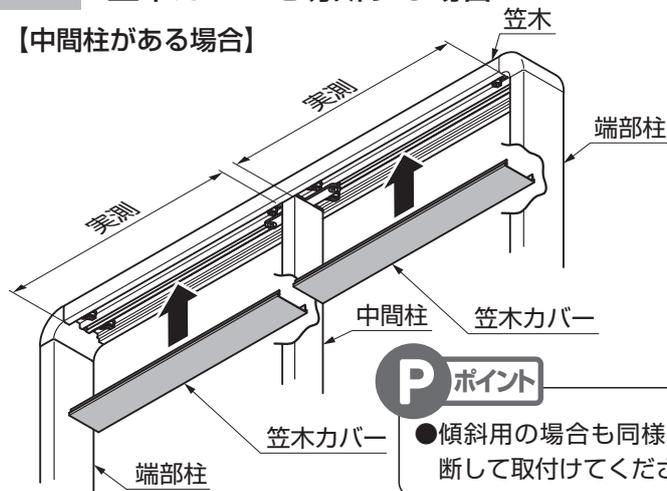
- ① 笠木カバーを笠木にはめ込んでください。

#### P ポイント

- 笠木カバーの切断は不要です。

### 9-3 笠木カバーを切断する場合

【中間柱がある場合】

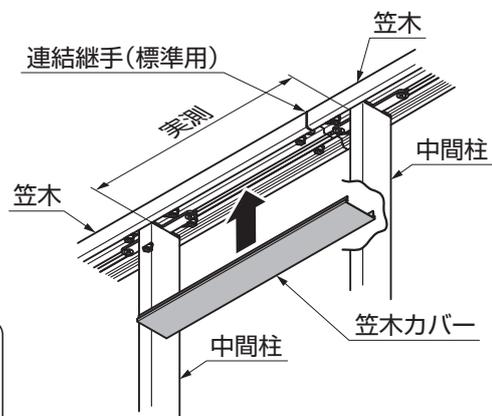


#### P ポイント

- 傾斜用の場合も同様に切断して取付けてください。

- ① 笠木カバーを取付ける幅を実測してください。
- ② 笠木カバーを実測した寸法値にて切断してください。
- ③ 笠木カバーを笠木にはめ込んでください。

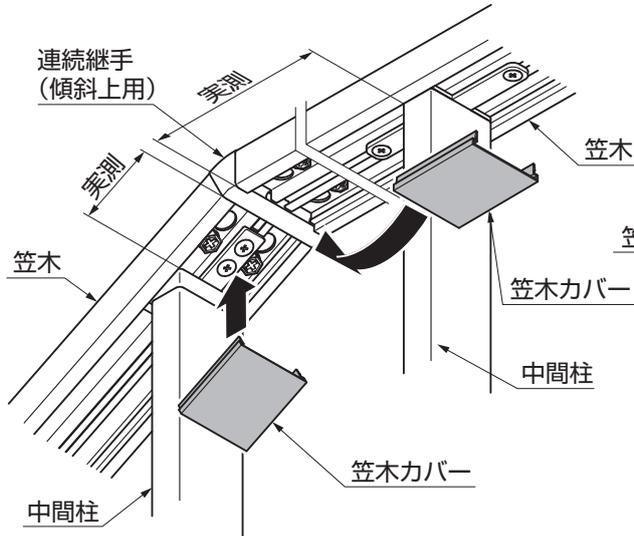
【連続継手(直線用)がある場合】



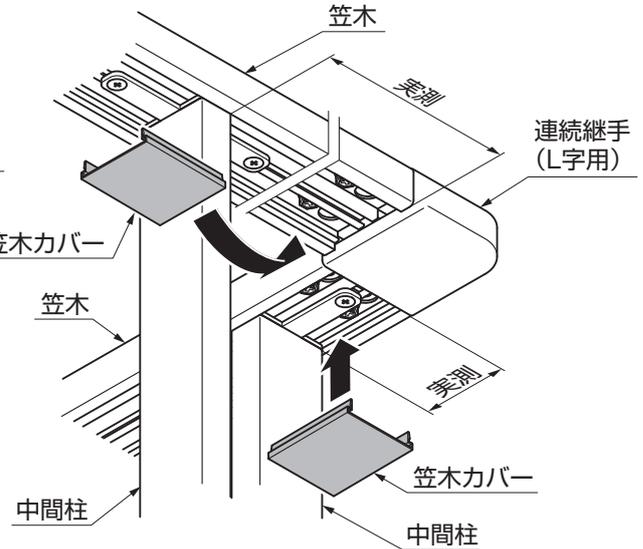
## 9. (つづき)

### 9-3 (つづき)

【連続継手(傾斜上用)がある場合】



【連続継手(L字用)がある場合】

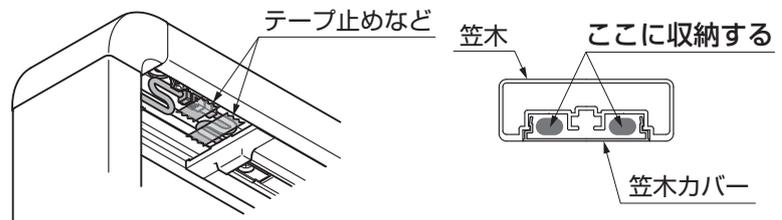


- ① 笠木カバーを取付ける幅を実測してください。
- ② 笠木カバーを実測した寸法値にて切断してください。
- ③ 笠木カバーを笠木にはめ込んでください。

### 9-4 LED照明を取付ける場合

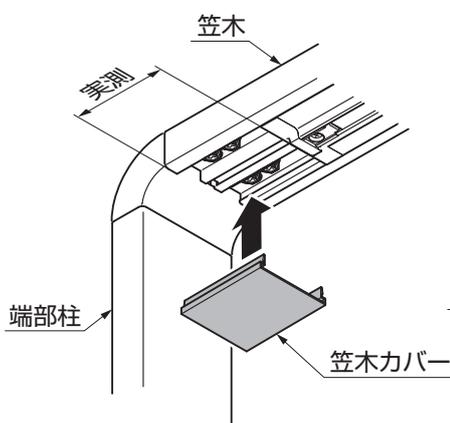
#### P ポイント

- LED照明用の配線を挟まないようにしてください。

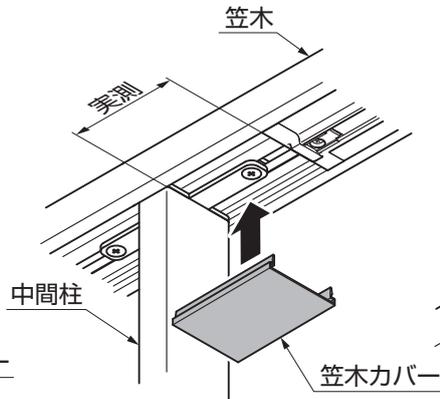


#### (1) 標準

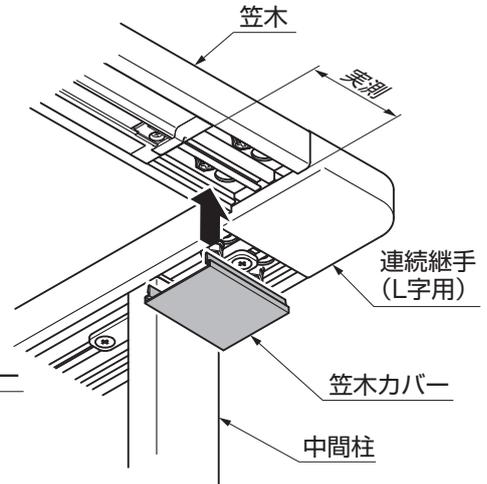
【継手(標準用)】



【中間柱(標準用)】

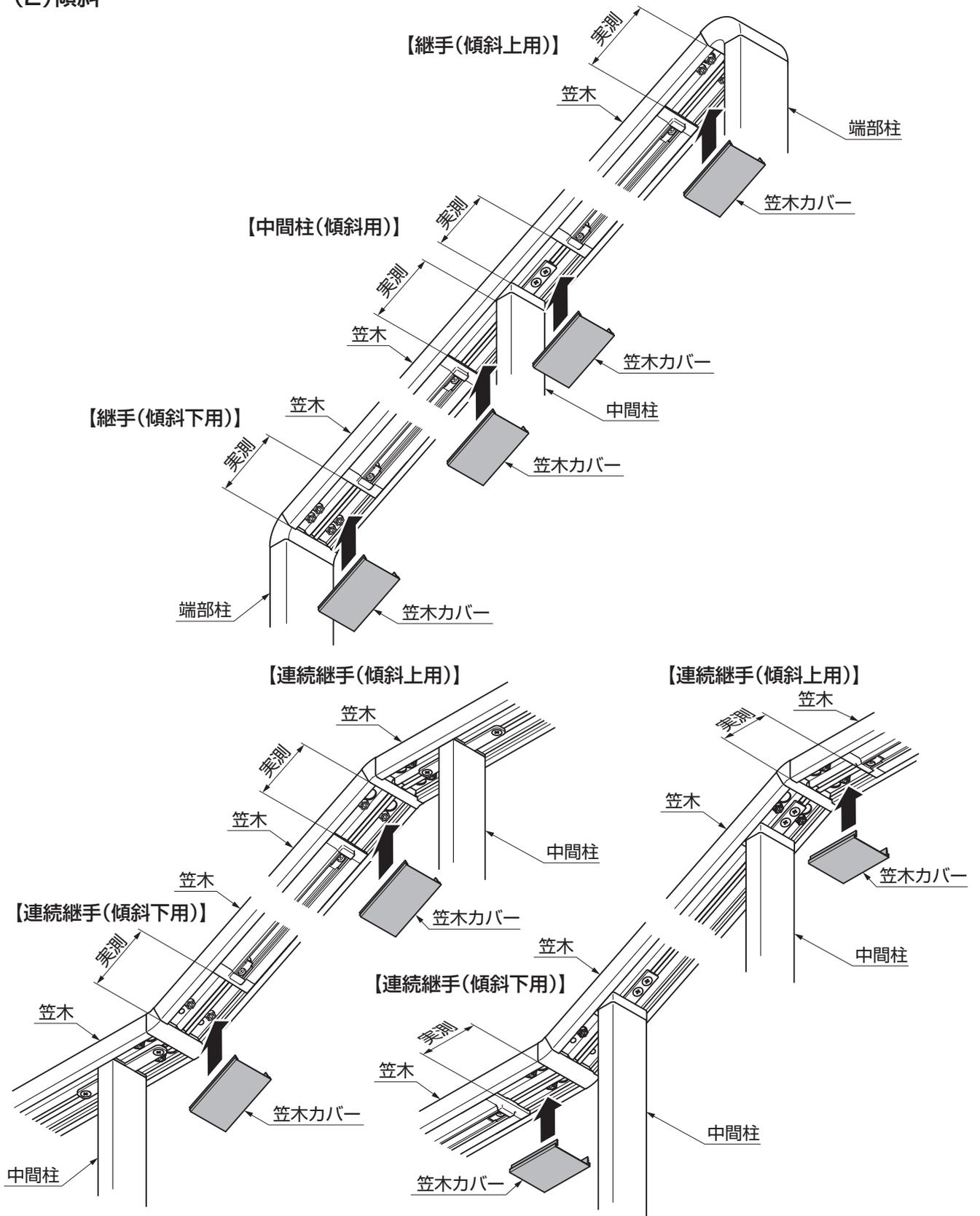


【連結継手(L字用)】



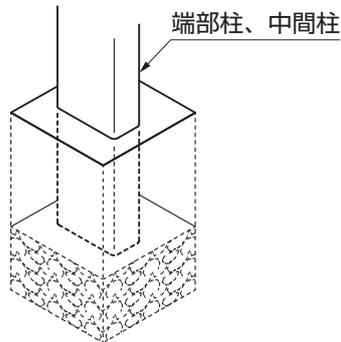
- ① 笠木カバーを取付ける幅を実測してください。
- ② 笠木カバーを実測した寸法値にて切断してください。
- ③ 笠木カバーを笠木にはめ込んでください。

## (2) 傾斜



- ① 笠木カバーを取付ける幅を実測してください。
- ② 笠木カバーを実測した寸法値にて切断してください。
- ③ 笠木カバーを笠木にはめ込んでください。

## 10. 柱の固定



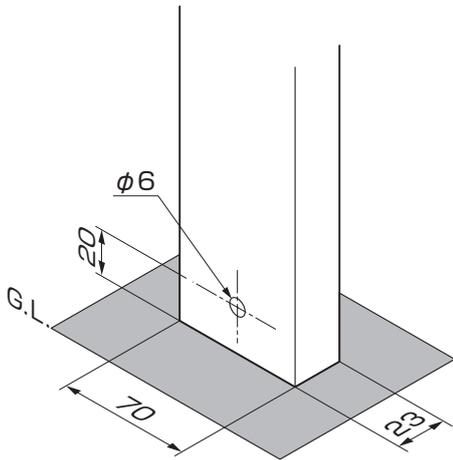
### P ポイント

- 柱の垂直、笠木の水平、継手のねじれなどが無いことを確認してから固定してください。

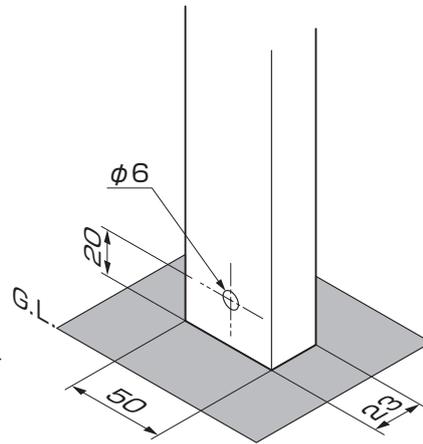
① 全ての柱を固定してください。

## 11. 水抜き穴加工

【端部柱】



【中間柱】

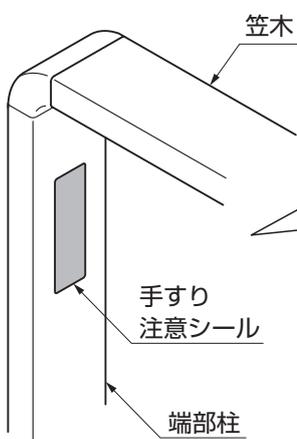


### ⚠ 注意

- 水抜き穴をあけないと柱が破損するおそれがあります。

① 柱にφ6の水抜き穴加工をしてください。

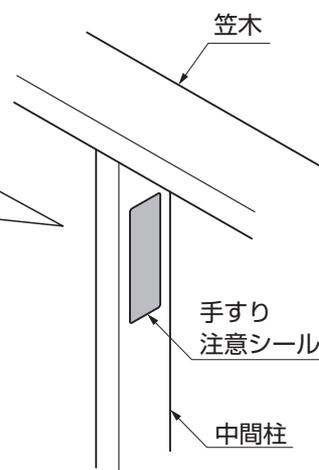
## 12. 手すり注意シールの貼付け



### ⚠ 注意

- 手すりに乗ったり、ぶらさがったりしないでください。ケガをするおそれがあります。
- 太陽熱により手すりの表面が高温になる場合があります。ご注意ください。

注意シール詳細

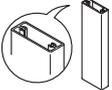
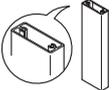


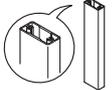
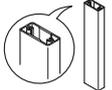
### ⚠ 注意

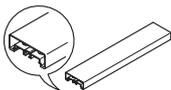
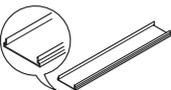
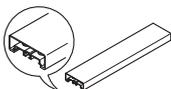
- 注意シールはお施主様に安全にご使用いただくために必要です。
- 手すりとして使用される可能性がある場合は必ず貼付けてください。

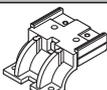
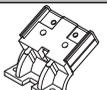
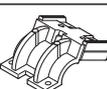
① 手すり注意シールを端部柱または、中間柱の目立つ位置に貼付けてください。

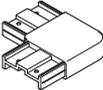
## ■梱包明細表

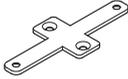
端部柱			
名称	略図	員数	
		H04	H08
		8TYQ01□□	8TYQ02□□
端部柱 H04		2	—
端部柱 H08		—	2
手すり注意シール		1	1
取付説明書<C453>	—	1	1
取扱説明書<UC034>	—	1	1

中間柱			
名称	略図	員数	
		H04	H08
		8TYQ03□□	8TYQ04□□
中間柱 H04		1	—
中間柱 H08		—	1

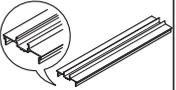
笠木											
名称	略図	員数				名称	略図	員数			
		W10	W20	W30	W40			W10	W20	W30	W40
		8TYQ05□□	8TYQ06□□	8TYQ07□□	8TYQ08□□			8TYQ05□□	8TYQ06□□	8TYQ07□□	8TYQ08□□
笠木 W10		1	—	—	—	笠木カバー W10		1	—	—	—
笠木 W20		—	1	—	—	笠木カバー W20		—	1	—	—
笠木 W30		—	—	1	—	笠木カバー W30		—	—	1	—
笠木 W40		—	—	—	1	笠木カバー W40		—	—	—	1

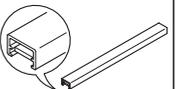
継手セット(端部柱用)									
名称	略図	員数			名称	略図	員数		
		標準用	傾斜上用	傾斜下用			標準用	傾斜上用	傾斜下用
		8TYQ09□□	8TYQ10□□	8TYQ11□□			8TYQ09□□	8TYQ10□□	8TYQ11□□
継手ベース(標準用)		1	—	—	継手ベース(傾斜下用)		—	—	1
継手カバー(標準用)		1	—	—	継手カバー(傾斜下用)		—	—	1
継手ベース(傾斜上用)		—	1	—	φ5×35ナベタッピンネジ2種		2	2	2
継手カバー(傾斜上用)		—	1	—	M5×12 十字穴付き 六角ボルト(PW+SW)		4	4	4

継手セット(連結用)											
名称	略図	員数				名称	略図	員数			
		直線	L字	傾斜上	傾斜下			直線	L字	傾斜上	傾斜下
		8TYQ12□	8TYQ13□	8TYQ14□	8TYQ15□			8TYQ12□	8TYQ13□	8TYQ14□	8TYQ15□
連結継手(直線用)		1	-	-	-	連結継手(傾斜下用)		-	-	-	1
連結継手(L字用)		-	1	-	-	M5×12 十字穴付き 六角ボルト(PW+SW)		4	4	4	4
連結継手(傾斜上用)		-	-	1	-						

中間柱取付部品(標準用)		
名称	略図	員数 8TYQ16ZZ
中間柱取付金具(標準用)		1
中間柱取付裏板(標準用)		1
φ5×35サラタップネジ2種		2
M5×10サラ小ネジ		2

中間柱取付部品(傾斜用)		
名称	略図	員数 8TYQ17□
中間柱取付金具(傾斜用)		1
中間柱取付裏板(傾斜用)		1
中間柱取付金具カバー		1
φ5×35ナベタップネジ2種		2
M5×10サラ小ネジ		2

照明用笠木カバー <b>オプション</b>							
名称	略図	員数		名称	略図	員数	
		8TYQ18□				8TYQ18□	
照明用笠木カバー		1		PF管接続コネクタ(呼び16用)		1	
照明用笠木カバー端部キャップ		2		膜付きグロメット		1	
φ4×8ナベタップネジ3種		2					
PF管接続コネクタ(呼び14用)		1					

LED照明 <b>オプション</b>							
名称	略図	員数		名称	略図	員数	
		8KBB66ZZ				8KBB66ZZ	
LED笠木照明ユニット		1		φ4×8トラスタップネジ3種 ※使用しません		2	
LEDユニット固定金具 ※使用しません		2					

取説コード

**C453**

JZZ633779A  
201805B\_1049